



# 地域医療実習報告書

はじめに ..... 2

## 令和6年度 春季地域医療実習 (地域医療体験実習Ⅰ)

|           |    |
|-----------|----|
| ・概要       | 3  |
| ・募集要項     | 4  |
| ・実習実績報告   |    |
| 松江        | 8  |
| 雲南一雲南市立病院 | 10 |
| 県央        | 12 |
| 浜田        | 14 |
| 益田        | 17 |
| 隠岐一島後     | 19 |
| ・意見交換会    | 21 |

## 令和7年度 夏季地域医療実習 (地域医療体験実習Ⅰ)

|            |    |
|------------|----|
| ・概要        | 22 |
| ・募集要項      | 23 |
| ・実習実績報告    |    |
| 松江         | 27 |
| 雲南一雲南市立病院  | 30 |
| 雲南一飯南病院    | 33 |
| 雲南一町立奥出雲病院 | 35 |
| 出雲         | 38 |
| 県央         | 41 |
| 浜田         | 47 |
| 益田         | 52 |
| 隠岐一島後      | 56 |
| ・意見交換会     | 59 |

## フレキシブル実習 (地域医療体験実習Ⅱ)

|                |    |
|----------------|----|
| ・概要            | 60 |
| ・実習レポート        | 61 |
| ・フレキシブル実習意見交換会 | 63 |

おわりに ..... 64

## はじめに

令和6年度春季地域医療実習および令和7年度夏季地域医療実習、ならびにフレキシブル実習が、保健所および地域医療機関、さらに地域住民の皆様の多大なご協力のもと、無事に実施することができました。

新型コロナウイルス感染症への対応が社会全体として「アフターコロナ」の段階に移行し、地域医療の現場においても日常診療や保健活動が着実に再構築されつつあります。一方で、人口減少と高齢化の進行、医療人材の地域偏在、医療・介護需要の複雑化など、地域医療を取り巻く課題は一層顕在化しています。また、ICTや医療DXの推進、多職種・多機関連携の重要性がこれまで以上に求められる状況となっています。そのような中、各保健所に企画していただいた実習計画に基づき、学生たちは地域の実情に即した特色ある地域医療を体験することができました。

フレキシブル実習では、学生自らが地域課題や自身の関心を踏まえて実習計画を立案し、医療・保健・福祉の現場を横断的に学ぶ機会が得られました。地域包括ケアの視点や、行政・医療機関・地域住民が協働する実践を体感することで、将来の医師として地域医療に関わる意義を具体的に考える貴重な学びとなりました。

報告会では、実習先の異なる5～6名が1組となり、「実習で最も印象に残った体験」「島根の地域医療の強み」「島根の地域医療が直面する課題と今後の改善策」について、オンライン会議を用いて活発な意見交換を行いました。医師偏在や医療資源の有効活用、住民との関わり方などについて多様な視点から議論が交わされ、学生同士が互いの学びを共有しながら理解を深める様子がかがえました。また、学生間の交流を深める機会ともなりました。

今後も、地域医療実習が学生にとってより実り多い学びの場となるよう、社会情勢や医療政策の動向、地域のニーズを踏まえながら、実習内容や支援体制の充実に努めてまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、地域医療実習の実施にあたり、多大なご協力を賜りました各保健所、市町村、医療関係者の皆様、ならびに地域住民の皆様に、心より御礼申し上げます。

島根大学医学部  
地域医療支援学講座  
教授 佐野 千晶

# 令和6年度春季地域医療実習 (地域医療体験実習Ⅰ)概要

## 実習目標

医学部の学生が、地域医療拠点病院・へき地診療所等の活動や地域との連携を実地で体験・学習することにより、地域医療や公衆衛生業務に対する理解を深めることを目的に、島根大学が島根県からの委託を受けて実施します。

## 実施時期

令和7年3月3日(月)～6日(木)(地域により異なる)

## 対象

- (1) 島根の地域医療に興味を持つ医学生(在籍する大学や出身地は問いません)
- (2) 島根県出身の自治医科大学在学中の医学生
- (3) 島根県から奨学金の貸与を受けた医学生

## 実習地区

松江・雲南(雲南市立病院)・県央・浜田・益田・隠岐(島後)

## 参加者

合計7名

(地域別内訳) 松江 1名、雲南 1名、県央 1名、浜田 2名、益田 1名、隠岐 1名

(学年別内訳) 1年生 4名、2年生 2名、5年生 1名

(大学別内訳) 島根大学 6名、鳥取大学 1名

## 実習中の課題

- ・ 実習前に計画書を作成し、各々の目標を定める。
- ・ 実習中は毎日Day Sheetを記入し、実習で学んだことを書き留める。
- ・ 実習の最後に保健所にて、意見交換会を行う。
- ・ 実習参加者全員で、
  - ①実習で一番印象に残った体験
  - ②島根の地域医療の良いところや課題
  - ③島根の地域医療の改善策について意見交換を行い、県や保健所担当からアドバイスも受ける。
- ・ 各自報告書を作成する。

## 指導教員

島根大学医学部

地域医療支援学講座 教授

佐野 千晶

地域医療支援学講座 助教

布野 慶人

地域医療支援学講座 助教

堀田 優希江

地域医療支援学講座 特任助教

家本 美佳

# 令和6年度春季地域医療実習 募集要項

## 地域医療を体験してみませんか

～ 春季地域医療実習の参加者を募集します ～

島根県の中山間地や離島等、過疎地域においては、医師の不足をはじめ、医療の確保が深刻な問題となっています。

島根大学は、本学のみならず全国の医学生みなさんに島根の地域医療に対する理解を深めていただくため、中山間地や離島の医療機関等での医療実習を、島根県と共に実施します。

### 対象

- 1 島根の地域医療に興味を持つ医学生(在籍する大学や出身地は問いません)
- 2 島根県出身の自治医科大学在学中の医学生
- 3 島根県から奨学金の貸与を受けた医学生

### 費用

島根大学医学部(出雲市塩冶町89-1)より各実施地区までの旅費(宿泊費等含む)、および実習期間中の傷害保険・損害保険にかかわる費用については、島根大学が負担します。なお、旅費は、実習終了後の口座振込としますので、実習期間中は一旦自己負担してください。

県内の7圏域で実施します。

| 実施機関  | 実施地区等 |         | 日程            | 募集定員 |
|-------|-------|---------|---------------|------|
| 松江保健所 | 松江    |         | 3月3日(月)～5日(水) | 2名   |
| 雲南保健所 | 雲南    | 雲南市立病院  | 3月3日(月)～5日(水) | 2名   |
|       |       | 飯南病院    | 3月3日(月)～5日(水) | 1名   |
|       |       | 町立奥出雲病院 | 3月3日(月)～5日(水) | 3名   |
| 出雲保健所 | 出雲    |         | 3月3日(月)～5日(水) | 2名   |
| 県央保健所 | 県央    |         | 3月4日(火)～6日(木) | 2名   |
| 浜田保健所 | 浜田    |         | 3月3日(月)～5日(水) | 4名   |
| 益田保健所 | 益田    |         | 3月4日(火)～6日(木) | 3名   |
| 隠岐保健所 | 隠岐    | 島後地区    | 3月3日(月)～6日(木) | 2名   |
|       |       | 島前地区    | 3月3日(月)～6日(木) | 2名   |
| 計     |       |         |               | 23名  |

### 意見交換会

3月7日(金)14時から、本学および島根県の関係者との意見交換会をオンラインで開催します。実習参加者は、原則として全員参加してください。

### 応募方法

島根大学医学部ホームページに掲載の申し込みフォームに必要事項を入力してください。×切は1月16日(木)です。(アドレス等詳細後述)

## ～ 地域別実習内容 ～

実習期間中のスケジュール、必要経費等、各実施機関が作成した実習計画の詳細は、島根大学医学部ホームページ(アドレス後述)に掲載しています。

### 松江地区

【実施機関】 松江市・島根県共同設置松江保健所

【実習協力機関】 松江市国民健康保険来待診療所、安来市立病院

【実習のセールスポイント】

● 松江市国民健康保険来待診療所

健康増進を目的とした複合施設の中にあり、地域に密着した医療、中山間地における診療所の役割や現状を学ぶことができます。

● 安来市立病院

安来市の救急医療の中心的役割を担うと共に、無医地区への巡回診療を実施されています。また、地域医療拠点病院として各機関との連携を図ると共に、在宅医療にも積極的に取り組まれており、中山間地に位置する病院の役割や現状を学ぶことができます。

### 雲南地区

【実施機関】 島根県雲南保健所

【実習協力機関】 雲南市立病院、飯南病院、町立奥出雲病院

【実習のセールスポイント】

● 雲南市立病院

実習を通じて、地域の中核病院としての役割や地域医療の現状を学ぶことができます。

また、総合医育成に力を入れており、「病気だけでなく暮らしを見ることのできる医師」を育てる取り組みを行い、地域から愛される医師を育てていきます。幅広い活動内容とスタッフの熱い思いに是非触れてみてください。実習スケジュールは初日に学生の希望を聞き調整しますので実習目的を考えておいてください。この実習で何か感じ取ってもらえると思います。

● 飯南病院

『総合医』と『プライマリケア』をキーワードに、地域で活用してもらえる病院を目指しています。

医師は、住民の日常を支える『かかりつけ医』の役割と、二次医療を守る『総合医』の役割を併せ持つ視点での診療が求められます。地域のニーズと特性を総合的に考えながらバランスを保っていき、そんなフィールドを目指し成長したいと考えています。

保健・医療・介護・福祉の連携による『飯南町版地域包括医療・ケア』を体験してください。

● 町立奥出雲病院

町立奥出雲病院は中山間地において、入院・外来医療を提供しています。令和2年11月より、院内に「介護医療院」を開設し、要介護者への対応も始まりました。さらに、今後増加する在宅療養ニーズに対応するため、「在宅診療センター」として訪問事業(訪問診療・看護・リハ・栄養指導)を実施し、地域の診療所や介護事業所と連携しながら在宅医療に熱心に取り組んでいます。

また、学生が指導医等に対し「本日の学び」のショートプレゼンテーションなど、コミュニケーション能力向上のための実習などもあります。

さらに、医学生の希望に応じて実習スケジュール変更するなどフレキシブルな対応も可能です。

## 出雲地区

【実施機関】 島根県出雲保健所

【実習協力機関】 出雲市立乙立里家診療所、島根県立こころの医療センター、  
医療法人 江口内科医院、医療法人つたや会 在宅診療所いずも、  
社会福祉法人 ふあっと、クレド訪問看護リハビリステーション、  
島根県看護協会訪問看護ステーションいずも

【実習のセールスポイント】

公立診療所である乙立里家診療所の外来診療を見学し、訪問診療や訪問看護では実際に患者宅まで同行するなど、最前線の地域医療に触れることができます。またこころの医療センターでは県全域を視野にした精神医療を学ぶことができます。社会福祉法人ふあっとでは、障がい者の自立した生活に向けた支援の取り組みを知ることができます。保健医療福祉分野の現場を幅広く経験することで、地域医療のイメージを培うことができます。

## 県央地区

【実施機関】 島根県県央保健所

【実習協力機関】 公立邑智病院、加藤病院、中村ブレイス株式会社

【実習のセールスポイント】

圏域の地域医療を支える中核病院の特徴を学びながら様々な実習(外来・病棟・当直体験・診療所実習等)が行える実習プログラムとなっています。

地域医療に情熱的に取り組む臨床現場の雰囲気を肌で感じ、その想いをぜひ聞いてください。

## 浜田地区

【実施機関】 島根県浜田保健所

【実習協力機関】 独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター、島根県済生会江津総合病院、  
西部島根医療福祉センター、社会医療法人清和会 西川病院、  
浜田市国民健康保険診療所(波佐診療所、弥栄診療所、あさひ診療所)

【実習のセールスポイント】

急性期医療、精神医療、福祉と連携した医療、地域に密着した医療の現場を体験し、現場の医療職との意見交換を行うことにより、浜田圏域における各機関の取り組み、役割、医療連携について理解を深めていただくプログラムです。

## 益田地区

【実施機関】 島根県益田保健所

【実習協力機関】 益田赤十字病院、よしか病院、松ヶ丘病院、松本医院

【実習のセールスポイント】

益田圏域内の3つの病院と1つの診療所での実習を通し、それぞれの医療機関が地域で担う役割・機能について理解を深めることができます。救急外来を含めた外来診療の見学や訪問診療への同行、精神科病院での実習も予定しており、地域医療の最前線で活躍している医師や多職種の医療従事者の現場での姿を見ることができます。

## 隠岐地区

### ●島後地区

【実施機関】 島根県隠岐保健所

【実習協力機関】 隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐広域連合立隠岐島前病院、  
隠岐の島町国民健康保険 都万診療所、隠岐の島町国民健康保険 布施八き地診療所、  
高梨医院、隠岐の島町地域包括支援センター

【実習のセールスポイント】

地域医療の中核となっている隠岐病院や診療所、開業医の現場を実際に体験頂き、離島における医療の現状、また総合診療の在り方を感じてみて下さい。更に、限られた人数で医療を支える仕組みについても学んでみませんか。

保健所や地域包括支援センターの役割を知って頂くことにより、行政と住民との関わり方、及び行政と医療機関の連携についても理解を深めていただければと思います。

隠岐地域での医療実習へのご参加をお待ちしております。

### ●島前地区

【実施機関】 島根県隠岐保健所

【実習協力機関】 隠岐広域連合立隠岐島前病院、西ノ島町地域包括支援センター

【実習のセールスポイント】

地域医療の中核となっている隠岐島前病院の現場を実際に体験頂き、離島における医療の現状、また総合診療の在り方について感じてみてください。更に、限られた人数で医療を支える仕組みについても学んでみませんか。保健所や地域包括支援センターの役割を知って頂くことにより、行政と住民との関わり方、及び行政と医療機関の連携についても理解を深めていただければと思います。

隠岐地域での医療実習へのご参加をお待ちしております。

## お問い合わせ・お申し込み先

島根大学医学部 学務課 教育改革・教務担当

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

TEL : (0853)20-2085 FAX : (0853)20-2078

URL : <https://www.med.shimane-u.ac.jp/zaigakusei/sscmt/index.html>

島根大学医学部ホームページ(上記URL)に

募集要項・参加申込方法等を掲載していますので、ご参照ください。

# 松江地区

## 【令和6年度春季地域医療実習実績報告】

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 実施機関   | 松江市・島根県共同設置松江保健所      |
| 実施年月日  | 令和7年3月3日(月)～5日(水)     |
| 実習協力機関 | 松江市国民健康保険来待診療所、安来市立病院 |
| 宿泊場所   | 自宅                    |
| 参加人数   | 1名                    |
| 実習内容   | 松江圏域における地域医療について      |

| 3月3日(月) |                      | 3月4日(火) |                     | 3月5日(水) |                      |
|---------|----------------------|---------|---------------------|---------|----------------------|
| (時間)    | (内容)                 | (時間)    | (内容)                | (時間)    | (内容)                 |
| 8:40    | 松江保健所集合<br>オリエンテーション | 8:30    | 松江保健所集合             | 8:40    | 松江保健所集合              |
| 8:50    | 保健所長講話               | 9:00    | 来待診療所<br>午前(外来診療)   | 9:30    | 安来市立病院<br>午前(病院実習)   |
| 10:20   | 事情により実習終了            |         | 昼食<br>午後(訪問診療・外来診療) |         | 昼食<br>午後(病院実習・訪問診療)  |
|         |                      | 18:15   | (2日目終了)現地解散         | 16:00   | 終了 移動                |
|         |                      |         |                     | 16:45   | 松江保健所 帰着<br>(実習のまとめ) |
|         |                      |         |                     | 17:45   | 実習終了                 |

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

まず来待診療所では、以前に見学した浜田のあさひ診療所と比べて人口の多いので、診察室4つを最大限生かし、看護師と連携をとることで回転率を上げ、1人の医師で診察できる患者の人数を増やす努力されていることがわかりました。この努力によって、訪問診療にける時間も増やすことができ、私にとってとても理想的な地域医療だなと思いました。島根では薬剤師も不足しているとのことでしたが、来待診療所には院内薬局があり、診療所内で完結できるところが利点だということも学べました。

また、安来診療所では検案を見学させていただき、こういったことも医師の仕事と理解していましたが、実際に立ち合わせていただくと実感が湧いてきて、とても貴重な機会をいただいたなと思います。高齢化が進む島根では、医師の看取る数も増えていくと思うので大事な仕事だと感じました。また、地域連携室の方からお話していただいたのですが、病院での病床管理が徹底して行われていることを知れたのがとても良かったです。退院後の生活まで考えてサポートするのは理想ですがとても大変なことだと思います。それを実際に行っているというのは本当にすごいことだと思いましたし、私もそういった病院で勤務したいと思いました。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

同じ診療所でもその地域の人口や気候、文化によって診察の仕方や診療所の雰囲気が違うことが分かったので、将来診療所に勤務することになったらその地域の特性を理解することも大事にしたいと思いました。その地域を代表するような心意気が大切だなと思いました。また、医師の仕事は知っている範囲以外にも多いと学んだので、それを知る努力をしたいなと思いました。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 診療所の医師の仕事についての理解が深まった。(胃カメラ、エコーなど)
- 中型病院の地域での役割や、他病院との連携を学べた。
- 医師の役割として看取りがあることを実感できた。

**●お世話になった方へのメッセージ**

来待診療所のみなさま、安来市立病院のみなさま、この度は春季地域医療実習で受け入れてくださりありがとうございました。来待診療所ではお忙しい中外来や胃カメラ、エコーの解説をしてくださったり、地域のことや院内薬局のことが聞けたりして嬉しかったです。安来市立病院では訪問診療の見学や検案の見学をさせていただいて、とても貴重な機会をいただいたなと思います。安来市を回ったのは初めてだったのでいろいろなことが学べて嬉しかったです。

# 雲南地区 (雲南市立病院)

## 【令和6年度春季地域医療実習実績報告】

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 実施機関   | 島根県雲南保健所          |
| 実施年月日  | 令和7年3月3日(月)～5日(水) |
| 実習協力機関 | 雲南市立病院            |
| 宿泊場所   | 雲南市立病院 医師住宅       |
| 参加人数   | 1名                |
| 実習内容   | 雲南地域における地域医療について  |

| 3月3日(月) |  | 3月4日(火) |                          | 3月5日(水) |                          |
|---------|--|---------|--------------------------|---------|--------------------------|
| (時間)    | (内容)                                       | (時間)    | (内容)                     | (時間)    | (内容)                     |
| 10:00   | 【雲南保健所】<br>・オリエンテーション<br>・管内の概況説明          | 7:30    | 【雲南市立病院】<br>地域ケア科カンファレンス | 7:30    | 【雲南市立病院】<br>地域ケア科カンファレンス |
| 11:10   | ・質疑応答                                      | 9:00    | 田井巡回診療                   | 9:00    | 掛合診療所見学                  |
| 11:15   | ・昼食、休憩                                     |         |                          |         |                          |
| 12:40   | 【病院へ移動】                                    | 12:30   | 昼食                       | 12:30   | 昼食                       |
| 13:00   | 【雲南市立病院】<br>オリエンテーション<br>小児科外来<br>小児入院患者診察 | 13:30   | オペ見学(耳鼻科)                | 13:00   | 訪問診療同行                   |
|         |  | 15:00   | 救急外来<br>地域ケア科医師同行        | 15:00   | 院内見学<br>検査科、放射線科         |
|         |  |         |                          |         | 意見交換・振り返り                |
| 17:00   | 終了<br><br>※初日に学生の希望を聞き、<br>スケジュールを作成       | 17:00   | 終了                       | 16:00   | 終了                       |

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

雲南地区では、医師の方々や患者さんやご家族との距離感がとても近く気軽に相談しやすい関係性が築かれていることを学びました。県外出身の先生でも島根県の方言を交えてお話しされていて、それが患者さんの安心感を生んでいる要素の一つなのだと感じました。また、患者さんに通院を続けてもらうためには、アドバイスし過ぎず少し見守ることも大切なのだと学びました。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

地域の方々との距離感を近づけるために、お祭りなどのイベントに参加していきたいと思います。また、多くの先生のお仕事に同行させていただいたことで、それぞれの先生方の働き方や仕事への思いを知ることができたので、自分でも将来どのような医師になりたいのかより深く考えていこうと思いました。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- オペの一連の流れを知ることができたこと。
- 聴診器の使い方を知ることができたこと。
- 疑問を積極的に質問できるようになったこと。

## ●お世話になった方へのメッセージ

医療知識のあまりない私が多くのことを学べるようにいろいろな場所を見学させていただき、とてもありがたかったです。初めての経験が多く、わくわくしながら実習することができました。先生方の近くで見学させていただいたことで改めて忙しさを実感することもできました。学年が上がってから、再び実習させていただきたいです。三日間本当にありがとうございました。



## 実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

# 県央地区

## 【令和6年度春季地域医療実習実績報告】

|        |                           |
|--------|---------------------------|
| 実施機関   | 島根県県央保健所                  |
| 実施年月日  | 令和7年3月4日(火)～6日(木)         |
| 実習協力機関 | 公立邑智病院、仁寿会加藤病院、中村ブレイス株式会社 |
| 宿泊場所   | 公立邑智病院職員宿舎、かわもとおとぎ館       |
| 参加人数   | 1名                        |
| 実習内容   | 大田地域における地域医療について          |

| 3月4日(火) |                              | 3月5日(水) |                  | 3月6日(木) |                                 |
|---------|------------------------------|---------|------------------|---------|---------------------------------|
| (時間)    | (内容)                         | (時間)    | (内容)             | (時間)    | (内容)                            |
| 9:00    | 【県央保健所】<br>オリエンテーション<br>所長講話 | 8:15    | 【公立邑智病院】<br>病院実習 | 7:50    | 移動(徒歩)<br>【加藤病院】<br>実習(在宅診療を含む) |
| 10:10   | 移動(タクシー)                     |         |                  |         |                                 |
| 10:30   | 【中村ブレイス(株)】<br>義肢装具製作所見学など   |         |                  |         |                                 |
| 12:00   | 昼食                           | 12:00   | 昼食               | 12:00   | 昼食                              |
| 13:10   | 移動(タクシー)                     |         |                  |         |                                 |
| 14:00   | 【公立邑智病院】<br>病院実習<br>夜間救急外来実習 | 16:30   | 実習終了<br>移動       | 15:30   | 実習終了<br>移動(タクシー)                |
|         |                              |         |                  | 16:20   | 【県央保健所】<br>報告会                  |
|         |                              |         |                  | 16:50   | 報告会終了                           |
|         | 宿泊<br>(公立邑智病院施設)             | 17:10   | 宿泊<br>(かわもとおとぎ館) | 17:16   | 移動(徒歩)<br>JR大田市駅発<br>(出雲市駅行き)   |

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

地域連携について学んだ。限られた医療資源の中でも最大限に医療を提供できるように色々な人がお互いに協力し合っているということ学んだ。川本町、邑南町を知ることができた。産婦人科の先生が常勤されているかどうかで、患者さんが里帰り出産できるかどうかに関わる。医療でもお金のことは大事だと学んだ。入院の患者さんの病棟移動で入院スペースを確保したり、他の病院に受け入れてもらったりするというような連携も大切なのだと思った。訪問診療では、独居の方もいらっやって、診察する傍、世間話などをしてコミュニケーションをとって繋がるということのも大事なことだと学んだ。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

医療のことだけでなく、地域のことも学び、町のことも学んでこそその地域医療だと思った。医療のことだけを学んでも患者さんの立場になって考えることができないのだと痛感したので、大学生のうちにもっと島根のこと知ろうと思った。島根県の現状の医師数や、診療科の偏在を考慮に入れて診療科を考えてみたいと思った。地域医療実習でしか得られないことがあったと思ったので、他の人にもこの実習を勧めたいと考えた。ご高齢の患者さんは方言が使われるので、方言の意味をしっかりと理解したいと考えた。外来見学をさせていただいて薬の処方などをみたので臨床を考えてこれからの勉強に励みたい。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 生と死について深く考えることができた点。
- 先生方に自分から積極的に質問できた点。
- 自分の意見を多角的な視点を考えて発言できた点。

## ●お世話になった方へのメッセージ

忙しい中実習を受け入れてくださってありがとうございました。皆様のおかげで非常に貴重な体験をさせていただきました。将来島根で働きますので、医師となってまた皆様と共に医療を支えていきたいなと強く感じました。この実習で得たことを糧にこれからもしっかりと勉学に励んでいきます。お世話になりました。本当にありがとうございました。



## 実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

# 浜田地区

## 【令和6年度春季地域医療実習実績報告】

|        |  |
|--------|--|
| 実施機関   | 島根県浜田保健所   |
| 実施年月日  | 令和7年3月3日(月)～5日(水)  |
| 実習協力機関 | 独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター、<br>島根県済生会江津総合病院、<br>社会医療法人清和会 西川病院、<br>浜田市国民健康保険診療所(あさひ診療所、弥栄診療所) |
| 宿泊場所   | ホテルルートイン浜田駅前   |
| 参加人数   | 2名   |
| 実習内容   | 浜田圏域における地域医療・保健・福祉体制について   |

| 3月3日(月) |   | 3月4日(火) |   | 3月5日(水) |                      |
|---------|---|---------|---|---------|----------------------|
| (時間)    | (内容)  | (時間)    | (内容)  | (時間)    | (内容)                 |
| 8:30    | 浜田市国保診療所での実習<br><br>1班: あさひ診療所(1名)<br>2班: 弥栄診療所(1名) | 8:30    | 西川病院、島根県済生会江津総合病院での実習<br><br>1班: 島根県済生会江津総合病院(1名)<br>2班: 西川病院(1名) | 8:30    | 浜田医療センターでの実習<br>(2名) |
|         |   |         |   | 16:00   | 浜田保健所長講和             |
|         |   |         |   | 17:00   | 実習終了<br><br>意見交換会    |

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

浜田市では医師や医療スタッフが限られた医療資源の中で工夫を凝らしながら、浜田圏域の医療を支えているということが実感できた。しかしながら、医師だけでなく看護師や薬剤師などの多くの職種で労働力が不足していることや開業医の減少、高齢者のポリファーマシーなど、多くの課題があることも改めて認識した。問題は多くあるものの、今回の実習を通して、地域医療を学ぶことの利点や僻地で医療を行うやりがいも同時に理解することができた。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

今回の実習を通じて、地域医療の魅力を実感することができた。今後地域医療にかかわる可能性も視野に入れながら、自分の卒業後のキャリアを考えていきたい。また、臨床実習の際にも得ることのできた地域医療の視点も併せて実習に参加することで、さらに深い学びにつながると考える。さらに、地域医療では、患者の生活背景を考慮した治療や多職種連携が大変重要であるということを実感することができた。医師になった際には他の職種の方々とも積極的にコミュニケーションをとり、どのような環境であっても適切な医療を提供できるようにしたいと思う。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 僻地で暮らす人々の生活環境を実感し、患者に寄り添う姿勢を得ることができた。
- 医師以外の職種の方と交流し、それぞれの役割を尊重できるようになった。
- 診察や訪問看護の同伴を通して信頼関係の築き方を学びコミュニケーション能力が向上した。

**●お世話になった方へのメッセージ**

地域医療実習において大変お世話になり、ありがとうございました。短い期間ではありましたが、先生方やスタッフの皆様のご指導のもと、地域医療の実際について多くのことを学ぶことができました。今後もこの経験を活かし、より一層努力してまいります。本当にありがとうございました。



## 実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

私が今回の実習を通し学べたことは、浜田医療圏が急性期医療にも慢性期医療にも、ある意味バランスをもって対応できている点です。私は初日にあさひ診療所でU先生、S先生の診療を見学させていただきました。先生方は患者さんの病歴、生活背景を頭に入れておられるのは勿論のこと、最近の家族の方の関係や、患者さんの薬についての悩み、日常における問題の解決にも向き合う姿を見ることができ、わからない病状のときにはすぐに調べられておられ、1次医療のスペシャリストとして、患者さんに接する態度、問診の方法等を学びました。また3日目の浜田医療センターでは島根県西部での3次医療を提供する医療機関として、5つの大小異なる手術室、うち1つは緊急の手術(グレードA帝王切開術)にも24時間対応できる設備が整っていることを確認し、1階の救急も広々としたスペースでいつでも患者さんを受け入れる用意が整っていたことに、その万全さを実感しました。このように浜田圏域では1次医療から3次医療に至るまで幅広くカバーできていることが確認できたことでした。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

まず問診をする中での患者さんに接する際の態度、診療する時の一声かけることなど、そのような気遣い1つでも診療のやりやすさなども変わるので、今後に活かしていきたいと思います。またこれから5、6年になり、病院実習等を重ねていく中での各診療科にも、どのような特色があるのかを見極めたうえで、そしてそれが将来の自分の医師像とどう関わっていくのかを考えたいと臨むのが良いことだと、先生方から教えていただきました。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 人としての必要な挨拶、礼儀、態度。
- 最低限覚えるべき、人が倒れていた時の対処法の会得。
- 世代ごとにおけるコミュニケーションの取り方。

**●お世話になった方へのメッセージ**

今回の実習により、自分が将来島根県で医療に従事するにあたり、何が求められているのかについて学ぶ機会となりました。改めて先生方には本当にお世話になり、感謝の念が絶えません。おそらく今一番将来働く選択肢に最も近いので、もし縁がありましたらまたお会いできることを楽しみにしております。



## 実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

# 益田地区

## 【令和6年度春季地域医療実習実績報告】

|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 実施機関   | 島根県益田保健所                 |
| 実施年月日  | 令和7年3月4日(火)～6日(木)        |
| 実習協力機関 | 益田赤十字病院、よしか病院、松ヶ丘病院、松本医院 |
| 宿泊場所   | 益田グリーンホテルモーリス            |
| 参加人数   | 1名                       |
| 実習内容   | 益田地域における地域医療について         |

| 3月4日(火) |                                    | 3月5日(水) |                              | 3月6日(木) |                               |
|---------|------------------------------------|---------|------------------------------|---------|-------------------------------|
| (時間)    | (内容)                               | (時間)    | (内容)                         | (時間)    | (内容)                          |
|         | (各自)ホテルチェックイン                      | 8:00    | 宿泊ホテル出発                      | 8:10    | 宿泊ホテル出発                       |
|         |                                    | 9:30    | ○よしか病院<br>・外来診療見学<br>・訪問診療見学 | 8:30    | ○松ヶ丘病院<br>・外来診療、院内見学<br>・施設見学 |
| 13:00   | ○益田保健所集合<br>・所長講義(益田圏域の概況<br>について) | 12:00   | 昼食・休憩                        | 12:00   | 昼食・休憩                         |
| 14:45   | 保健所出発                              |         |                              | 12:30   | 松ヶ丘病院出発                       |
| 15:00   | ○益田赤十字病院<br>・診療見学<br>・夜間救急見学等      | 16:00   | 実習終了<br>ホテル宿泊                | 13:00   | ○松本医院<br>・訪問診療見学              |
| 21:00   | 実習終了<br>ホテル宿泊                      |         |                              | 16:00   | 松本医院出発                        |
|         |                                    |         |                              | 16:15   | ○益田保健所<br>・意見交換会              |
|         |                                    |         |                              | 17:15   | 実習終了                          |

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

今回は4つの医療機関で実習させていただきましたが、それぞれの病院・医療従事者の方々が益田圏域での役割・立ち位置・求められるものを理解した上で地域医療を発展させようと奮闘しておられる姿が印象的でした。私は今まで、地方の医師が行う医療行為の独自性を理解していませんでした。しかし、今回の実習で益田圏域特有の環境・現状があるからこそ輝く医療のかたちがあると知ることができました。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

日々の勉強に将来の現場を意識して取り組みたいと思っています。低学年のうちには座学がメインで臨床の現場に触れる機会はあまりなく、今の勉強と将来の自分の姿が繋がりにくいと感じていました。そんな中、今回の実習で医療措置そのものだけでなく、地域医療において医療人一人ひとりが担う役割についても教えていただくことができました。改めて自分の将来の働き方を考えるきっかけになりました。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- その地区に有効な特有の地域医療のかたちがあることを知れました。
- 益田圏域の医療の連携について知れました。
- ほぼ初めての病院実習で検査の流れや器具を知れて良かったです。

**●お世話になった方へのメッセージ**

今回の実習で様々なことを教えていただき、本当にありがとうございました。まだ一年生で何もわからないと言っても過言ではないのに、どこの施設でも先生方がとても熱心に教えてくださって嬉しかったです。これからあと五年間、医学を学びつつ、地域医療についても深く学び考え、島根の地域医療を支える人材を目指します。



実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

# 隠岐地区（島後地区）

## 【令和6年度春季地域医療実習実績報告】

|        |                        |
|--------|------------------------|
| 実施機関   | 島根県隠岐保健所               |
| 実施年月日  | 令和7年3月5日(水)～6日(木)      |
| 実習協力機関 | 高梨医院、隠岐の島町地域包括支援センター   |
| 宿泊場所   | アイランドホテル しまじ           |
| 参加人数   | 1名                     |
| 実習内容   | 隠岐島後地区における保健・医療、地域医療体験 |

| 3月3日(月) |                       | 3月4日(火) |                       | 3月5日(水) |                                 | 3月6日(木) |                      |
|---------|-----------------------|---------|-----------------------|---------|---------------------------------|---------|----------------------|
| (時間)    | (内容)                  | (時間)    | (内容)                  | (時間)    | (内容)                            | (時間)    | (内容)                 |
|         | 海上時化によるフェリー欠航のため、実習中止 |         | 海上時化によるフェリー欠航のため、実習中止 | 9:30    | 隠岐空港到着                          | 9:00    | 【隠岐保健所】<br>所内自習、患者訪問 |
|         |                       |         |                       | 10:00   | 【高梨医院】<br>外来見学                  |         |                      |
|         |                       |         |                       | 11:30   | 保健所まで送迎<br>昼食                   | 11:30   | 実習終了                 |
|         |                       |         |                       | 13:30   | 【隠岐の島町地域<br>包括支援センター】<br>高齢者宅訪問 |         |                      |
|         |                       |         |                       | 16:30   | 保健所まで送迎<br>解散                   | 15:40   | フェリー乗船               |

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

僻地に勤務する医師数が増えることだけでは、過疎地での医療の実態の根本的な解決にはならず、その解決にはそもそもの根底にある制度の見直しや、交通の便、看護師、介護士の人手など様々な面において改める必要がある。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

医療の制度について、支援を受けられる基準や医療費の補助制度などについても更に学んでいき、患者さんにとっては金銭的な面からも何が負担が少ないかを考えられるようになっていきたい。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 初めて1人で外食し、地域の皆さんとお話することができた。
- 耳だけではなく目で話を聴く。
- 終わってから振り返るではなく、常に考えることができた。

## ●お世話になった方へのメッセージ

今回一泊というとても短い時間になってしまいましたが大変お世話になりました。実習計画には無かったお話し(お時間をいただき、隠岐の島の医療について教えていただいた。)もお聴きすることができ大変興味深く有意義な時間を過ごすことができました。ご飯のお店を教えてください、ごちそうになったり、島根の皆さんの温かさ優しさを切に感じました。また、機会があれば今度は夏の隠岐を訪問してみたいです。



実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

## 令和6年度春季地域医療実習 (地域医療体験実習Ⅰ)意見交換会

実習後に、参加学生、本学教員、島根県及び実習機関関係者が参加する意見交換会をオンラインで行った。当日は異なる圏域に実習に行った学生3～4名と、島根県及び実習機関関係者4名で1グループになり、「実習で一番印象に残った体験」、「島根の地域医療の良いところ・課題」、「島根の地域医療の改善策」の3つのテーマに沿って話し合った。最後に全2グループそれぞれの代表が自身のグループで話し合った内容を発表した。

**日 時** 令和7年3月7日(金)14:00～16:00(Web開催)

**参加者** 合計18名  
・島根県及び実習機関関係者：8名  
・大学関係者：3名  
・実習参加学生：7名

# 令和7年度夏季地域医療実習 (地域医療体験実習Ⅰ)概要

## 実習目標

医学部の学生が、地域医療拠点病院・へき地診療所等の活動や地域との連携を実地で体験・学習することにより、地域医療や公衆衛生業務に対する理解を深めることを目的に、島根大学が島根県からの委託を受けて実施します。

## 実施時期

令和7年8月18日(月)～21日(木)(地域により異なる)

## 対象

- (1) 島根の地域医療に興味を持つ医学生(在籍する大学や出身地は問いません)
- (2) 島根県出身の自治医科大学在学中の医学生
- (3) 島根県から奨学金の貸与を受けた医学生

## 実習地区

松江・雲南(雲南市立病院、飯南病院、町立奥出雲病院)・出雲・  
県央(大田・邑智)・浜田・益田・隠岐(島後)

## 参加者

合計24名

(地域別内訳) 松江 2名、雲南 6名、出雲 2名、県央 4名、浜田 4名、  
益田 4名、隠岐 2名

(学年別内訳) 1年生 16名、2年生 2名、3年生 3名、4年生 2名、5年生 1名

(大学別内訳) 島根大学 15名、鳥取大学 2名、自治医科大学 5名、横浜市立大学 2名

## 実習中の課題

- ・実習前に計画書を作成し、各々の目標を定める。
- ・実習中は毎日Day Sheetを記入し、実習で学んだことを書き留める。
- ・実習の最後に保健所にて、意見交換会を行う。
- ・実習参加者全員で、  
①実習で一番印象に残った体験 ②島根の地域医療の良いところや課題 ③島根の地域医療の改善策について  
意見交換を行い、県や保健所担当からアドバイスも受ける。
- ・各自報告書を作成する。

## 指導教員

島根大学医学部

地域医療支援学講座 教授

佐野 千晶

地域医療支援学講座 助教

布野 慶人

地域医療支援学講座 助教

堀田 優希江

地域医療支援学講座 特任助教

家本 美佳

## 令和7年度夏季地域医療実習 募集要項

### 地域医療を体験してみませんか

～ 夏季地域医療実習の参加者を募集します ～

島根県の中山間地や離島等、過疎地域においては、医師の不足をはじめ、医療の確保が深刻な問題となっています。

島根大学は、本学のみならず全国の医学生みなさんに島根の地域医療に対する理解を深めていただくため、中山間地や離島の医療機関等での医療実習を、島根県と共に実施します。

#### 対象

- 1 島根の地域医療に興味を持つ医学生(在籍する大学や出身地は問いません)
- 2 島根県出身の自治医科大学在学中の医学生
- 3 島根県から奨学金の貸与を受けた医学生

#### 費用

島根大学医学部(出雲市塩冶町89-1)より各実施地区までの旅費(宿泊費等含む)、および実習期間中の傷害保険・損害保険にかかわる費用については、島根大学が負担します。なお、旅費は、実習終了後の口座振込としますので、実習期間中は一旦自己負担してください。

県内の7圏域で実施します。

| 実施機関  | 実施地区等 |         | 日程              | 募集定員 |
|-------|-------|---------|-----------------|------|
| 松江保健所 | 松江    |         | 8月18日(月)～20日(水) | 2名   |
| 雲南保健所 | 雲南    | 雲南市立病院  | 8月18日(月)～20日(水) | 2名   |
|       |       | 飯南病院    | 8月18日(月)～20日(水) | 1名   |
|       |       | 町立奥出雲病院 | 8月18日(月)～20日(水) | 3名   |
| 出雲保健所 | 出雲    |         | 8月19日(火)～21日(木) | 2名   |
| 県央保健所 | 県央    | 大田地区    | 8月19日(火)～21日(木) | 2名   |
|       |       | 邑智地区    | 8月18日(月)～20日(水) | 2名   |
| 浜田保健所 | 浜田    |         | 8月18日(月)～20日(水) | 4名   |
| 益田保健所 | 益田    |         | 8月19日(火)～21日(木) | 3名   |
| 隠岐保健所 | 島後地区  |         | 8月18日(月)～21日(木) | 2名   |
| 計     |       |         |                 | 23名  |

#### 意見交換会

8月22日(金)14時から、本学および島根県の関係者との意見交換会をオンラインで開催します。実習参加者は、原則として全員参加してください。

#### 応募方法

島根大学医学部ホームページに掲載の申し込みフォームに必要事項を入力してください。〆切は7月3日(木)です。(アドレス等詳細後述)

## ～ 地域別実習内容 ～

実習期間中のスケジュール、必要経費等、各実施機関が作成した実習計画の詳細は、島根大学医学部ホームページ(アドレス後述)に掲載しています。

### 松江地区

【実施機関】 松江市・島根県共同設置松江保健所

【実習協力機関】 松江市国民健康保険来待診療所、安来市立病院

【実習のセールスポイント】

● 松江市国民健康保険来待診療所

健康増進を目的とした複合施設の中にあり、地域に密着した医療、中山間地における診療所の役割や現状を学ぶことができます。

● 安来市立病院

安来市の救急医療の中心的役割を担うと共に、無医地区への巡回診療を実施されています。また、地域医療拠点病院として各機関との連携を図ると共に、在宅医療にも積極的に取り組まれており、中山間地に位置する病院の役割や現状を学ぶことができます。

### 雲南地区

【実施機関】 島根県雲南保健所

【実習協力機関】 雲南市立病院、飯南病院、町立奥出雲病院

【実習のセールスポイント】

● 雲南市立病院

実習を通じて、地域の中核病院としての役割や地域医療の現状を学ぶことができます。

また、総合医育成に力を入れており、「病気だけでなく暮らしを見ることのできる医師」を育てる取り組みを行い、地域から愛される医師を育てていきます。幅広い活動内容とスタッフの熱い思いに是非触れてみてください。初日に学生の要望を聞き、スケジュールを作成していきます。十分な実習が提供できるかわかりませんが何か感じ取ってもらえると思います。

● 飯南病院

『総合医』と『プライマリケア』をキーワードに、地域で活用してもらえる病院を目指しています。

医師は、住民の日常を支える『かかりつけ医』の役割と、二次医療を守る『総合医』の役割を併せ持つ視点での診療が求められます。地域のニーズと特性を総合的に考えながらバランスを保っていく、そんなフィールドを目指し成長したいと考えています。

保健・医療・介護・福祉の連携による『飯南町版地域包括医療・ケア』を体験して下さい。

● 町立奥出雲病院

町立奥出雲病院は中山間地において、入院・外来医療を提供しています。令和2年11月より、院内に「介護医療院」を開設し、要介護者への対応も始まりました。さらに、今後増加する在宅療養ニーズに対応するため、「在宅診療センター」として訪問事業(訪問診療・看護・リハ・栄養指導)を実施し、地域の医院や事業所と連携しながら在宅医療に熱心に取り組んでいます。

また、学生が指導医等に対し「本日の学び」のショートプレゼンテーションなど、コミュニケーション能力向上のための実習などもあります。

さらに、医学生の希望に応じて実習スケジュール変更するなどフレキシブルな対応も可能です。

## 出雲地区

【実施機関】 島根県出雲保健所

【実習協力機関】 出雲市立総合医療センター、島根県立こころの医療センター、医療法人 須谷医院、  
医療法人つたや会 在宅診療所いずも、社会福祉法人創文会 ハートピア出雲

【実習のセールスポイント】

訪問診療実習では実際に患者宅まで同行し、最前線の地域医療に触れることが出来ます。市立総合医療センターでは、切れ目のない医療、予防医療、地域医療連携の現状などについて学ぶことが出来ます。こころの医療センターでは県全域を視野に入れた精神医療を学ぶことができます。ハートピア出雲では、障がい者の自立した生活に向けた支援の取り組みを知ることができます。幅広い現場を経験することで、地域医療のイメージを培うことができます。

## 県央地区

### ●大田地区

【実施機関】 島根県県央保健所

【実習協力機関】 大田市立病院、医療法人社団悠伸会 うめがえ内科クリニック、こまめクリニック、  
中村ブレイス株式会社、社会福祉法人 亀の子

【実習のセールスポイント】

圏域の地域医療を支える中核病院の特徴を学びながら様々な実習(外来・病棟・当直体験・診療所実習等)が行える実習プログラムとなっています。

地域医療に情熱的に取り組む臨床現場の雰囲気を感じ、その思いをぜひ聞いて下さい。

### ●邑智地区

【実施機関】 島根県県央保健所

【実習協力機関】 公立邑智病院、加藤病院、中村ブレイス株式会社、社会福祉法人 亀の子

【実習のセールスポイント】

圏域の地域医療を支える中核病院の特徴を学びながら様々な実習(外来・病棟・当直体験・診療所実習等)が行える実習プログラムとなっています。

地域医療に情熱的に取り組む臨床現場の雰囲気を感じ、その想いをぜひ聞いてください。

## 浜田地区

【実施機関】 島根県浜田保健所

【実習協力機関】 独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター、島根県済生会江津総合病院、  
西部島根医療福祉センター、社会医療法人清和会 西川病院、  
浜田市国民健康保険診療所(弥栄診療所、波佐診療所、あさひ診療所)

【実習のセールスポイント】

急性期医療、精神医療、福祉と連携した医療、地域に密着した医療の現場を体験し、現場の医療職との意見交換を行うことにより、浜田圏域における各機関の取り組み、役割、医療連携について理解を深めていただくプログラムです。

## 益田地区

【実施機関】 島根県益田保健所

【実習協力機関】 益田赤十字病院、津和野共存病院、益田地域医療センター医師会病院

【実習のセールスポイント】

益田圏域内の異なる機能をもつ3つの病院での実習を通し、それぞれの医療機関が地域で担う役割・機能について理解を深めることができます。医師や多職種の医療従事者が、地域医療の最前線とも言える現場で活躍している姿を見ることができます。毎日、異なる医療機関で実習することで、地域における医師としての多様な働き方や役割を知ることのできるプログラムとなっています。

## 隠岐地区

【実施機関】 島根県隠岐保健所

【実習協力機関】 隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐の島町地域包括支援センター、高梨医院、  
隠岐の島町国民健康保険 五箇診療所

【実習のセールスポイント】

地域医療の中核となっている隠岐病院や診療所、開業医の現場を実際に体験いただき、離島における医療の現状、また総合診療の在り方を感じてみてください。更に、限られた人数で医療を支える仕組みについても学んでみませんか。

保健所や地域包括支援センターの役割を知っていただくことにより、行政と住民との関わり方、及び行政と医療機関の連携についても理解を深めていただければと思います。

隠岐地域での医療実習へのご参加をお待ちしております。

## お問い合わせ・お申し込み先

島根大学医学部 学務課 教育改革・教務担当

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

TEL : (0853)20-2085 FAX : (0853)20-2078

URL : <https://www.med.shimane-u.ac.jp/zaigakusei/sscmt/index.html>

島根大学医学部ホームページ(上記URL)に

募集要項・参加申込方法等を掲載していますので、ご参照ください。

# 松江地区

## 【令和7年度夏季地域医療実習実績報告】

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 実施機関   | 松江市・島根県共同設置松江保健所      |
| 実施年月日  | 令和7年8月18日(月)～20日(水)   |
| 実習協力機関 | 松江市国民健康保険来待診療所、安来市立病院 |
| 宿泊場所   | 自宅                    |
| 参加人数   | 2名                    |
| 実習内容   | 松江圏域における地域医療について      |

| 8月18日(月) |                      | 8月19日(火) |                      | 8月20日(水) |                     |
|----------|----------------------|----------|----------------------|----------|---------------------|
| (時間)     | (内容)                 | (時間)     | (内容)                 | (時間)     | (内容)                |
| 8:40     | 松江保健所集合<br>オリエンテーション | 9:00     | 来待診療所 集合<br>午前(外来診療) | 8:40     | 松江保健所集合<br>移動       |
| 8:50     | 所長講話                 |          |                      | 8:45     | 安来市立病院<br>午前(病院実習)  |
| 10:20    | 移動                   |          |                      | 9:30     | 午前(病院実習)            |
| 11:00    | 来待診療所<br>午前(外来診療)    | 17:00    | (2日目終了)現地解散          |          | 昼食<br>午後(病院実習・訪問診療) |
|          | 昼食<br>午後(訪問診療)       |          |                      |          | 16:00               |
| 17:00    | (初日終了)現地解散           |          |                      | 16:45    | 松江保健所(実習のまとめ)       |
|          |                      |          |                      | 18:00    | 実習終了                |

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

本実習を通して、鳥根県の地域医療の実態を、データと現場双方から学ぶことができた。鳥根県は全国に先駆けて高齢化が進んでおり、医療需要がピークを迎えつつあること、その中でも医療資源に限られる地域で質を保ちながら医療を提供するために、診療所・病院・行政がそれぞれの役割を担いながら連携していることを知り、その様子を見学できた。

来待診療所では、少ない人員体制の中でスタッフが綿密に連携し、患者の生活背景を踏まえたきめ細やかな医療を実践していることを学んだ。また、訪問診療の現場では、地域の医療ニーズを理解するとともに、訪問診療の効率や担い手不足などの現実も体感した。

安来市立病院では、急性期・回復期医療の機能分担や地域連携室の役割を知り、患者のシームレスな病気からの復帰を支援するシステムを理解した。同時に、こうした仕組みが地域住民や一部の医療従事者に十分周知されていない現状を知り、情報共有の在り方に課題が残されていることを認識した。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

本実習を通じて、患者を疾患の治療のみにとどまらず、その患者の生活や社会復帰まで捉える視点の重要性を学んだ。今後の臨床実習や将来の診療において、治療と同時に生活支援の観点を意識して臨みたいと思う。そのために不可欠な多職種連携の実際も今回見学でき、他職種との協働姿勢も今のうちから積極的に養っていきたいと思う。

また、医療資源に限られる中で医療の質を落とさず、効率性と公平性を両立させる必要があるという視点を持ち続け、解決に向け自分に何ができるかを考えていきたいと思う。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 地域医療の構造を俯瞰的に理解できるようになった点。
- 地域医療の現場を見学し、自分の将来のイメージが湧き、勉学に対するモチベーションが上がった点。
- 医療現場での課題(効率、人材不足、周知不足など)を体感し、問題意識が芽生えた点。

**●お世話になった方へのメッセージ**

このたびは貴重な実習の機会をいただき、誠にありがとうございました。松江保健所、来待診療所、安来市立病院の先生方はじめ、スタッフの皆さま、そして地域住民の方々に温かく迎えていただき、学びを深めることができました。地域の特性、ニーズにあわせた医療を提供するためのシステムを知り、現場の医師・スタッフの姿勢に触れたことで、自分の医師としての将来像がより鮮明にイメージできるようになりました。今回の学びを糧に、今後も臨床実習や将来の研修に励み、鳥根県で地域や患者さんに貢献できる医師を目指してまいります。本当にありがとうございました。

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

今回の実習では、島根県の地域医療の特徴を体験しながら学ぶことができました。来待診療所では、医師が少人数で効率的に診療を進め、看護師が調剤や診察補助を担うなど役割を柔軟に分担していました。その結果、患者さん一人ひとりに応じた対応が可能となり、限られた人員の中でも満足度の高い医療が実現していることを知りました。また、患者さんが病室で待機し医師が診に来る形式や、看護師と医師の息の合った連携は、地域ならではの工夫であり、医療者と患者の親密な関係を支えていると感じました。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

今回の実習を通じて、地域医療では限られた人員の中でも効率的な役割分担と密接な連携によって診療が成り立っていること、そして患者さんとの信頼関係が医療の質に直結していることを学びました。これから学ぶ医学的な知識や技術はもちろん重要ですが、それと同時に、協力しながら行動する姿勢を意識することで、チームの一員としての自分の役割を考える習慣を身につけたいです。さらに、患者さん一人ひとりに合わせた対応や、安心感を与える診療の工夫が地域医療を支えていることを知ったので、将来臨床に携わる際には、知識や技術に加えて患者さんの生活背景や思いに寄り添える視点を持つことを心がけたいです。今回の経験を通して、病気を治すだけでなく、地域に根ざし人々に信頼される医師を目指したいと感じました。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 地域医療の現状を知り、視野が広がったこと。
- 患者さんとの関係性の重要性を実感できたこと。
- チーム医療の連携の大切さを体感できたこと。

**●お世話になった方へのメッセージ**

実習中にたくさんのことを教えてくださり、また貴重な経験をさせていただいた来待診療所のY先生や施設の皆様、安来市立病院の医療従事者やスタッフの皆様、本当にありがとうございました。一年生のうちからこのような体験をさせていただけたことをとても嬉しく思います。さらに、実習中にさまざまな面で支えてくださった松江保健所の皆様ならびに大学の先生方、本当にありがとうございました。



## 実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

# 雲南地区 (雲南市立病院)

## 【令和7年度夏季地域医療実習実績報告】

|        |                     |
|--------|---------------------|
| 実施機関   | 島根県雲南保健所            |
| 実施年月日  | 令和7年8月18日(月)～20日(水) |
| 実習協力機関 | 雲南市立病院              |
| 宿泊場所   | 雲南市立病院 医師住宅         |
| 参加人数   | 2名                  |
| 実習内容   | 雲南地域における地域医療について    |

| 8月18日(月) |  | 8月19日(火) |                                  | 8月20日(水) |                                     |
|----------|--|----------|----------------------------------|----------|-------------------------------------|
| (時間)     | (内容)   | (時間)     | (内容)                             | (時間)     | (内容)                                |
| 10:00    | 【雲南保健所】<br>・オリエンテーション<br>・管内の概況説明<br>・保健所の危機管理 | 7:30     | 【雲南市立病院】<br>地域ケア科カンファレンス<br>病棟回診 | 8:00     | 【雲南市立病院】<br>地域ケア科カンファレンス<br>病棟回診    |
| 11:10    | ・質疑、感想   | 8:30     | ・地域ケア科外来見学<br>・産婦人科外来見学          | 9:00     | 小児科(初診)外来見学<br>平成記念病院見学<br>(訪問診療同行) |
| 11:15    | ・昼食、休憩   |          |                                  |          |                                     |
| 12:15    | 【病院へ移動】  | 12:30    | 昼食                               | 12:00    | 昼食                                  |
| 13:00    | 【雲南市立病院】<br>オリエンテーション<br>病院紹介<br>救急外来見学        | 13:30    | オペ見学(耳鼻科、外科)                     | 13:00    | 訪問診療同行                              |
| 16:00    | 終了   | 16:00    | 振返り                              | 14:00    | 平成記念病院MTG                           |
|          |  | 16:30    | 終了                               | 15:00    | まとめ                                 |
|          |  |          |                                  | 16:00    | 終了                                  |

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

今回の実習を通して、島根県における地域医療に対する理解が深められたとともに、その課題を知ることが出来た。住民の健康意識が高く、健康寿命が比較的長い一方で、インフラが十分でなくそもそも病院に通うことすらままならない人達がいることが分かった。訪問診療では、病院からは見えない患者の生活背景を知ることが出来た。病院で入院をし、治療が終わり、家に帰る準備が整ったとしても家に帰ることが出来ない人がいることを知った。そういった患者のためにも医師は、彼らの生活背景を知ることが重要だと思った。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

手術や診察の様子を間近で見学させてもらう中で、医師として働くイメージが少し沸いた。大学が始まって以降、授業もよくわからない内容ばかりで勉強のモチベーションも落ちていたが、今回の体験をきっかけに少し回復した。島根県の医療の現状や課題を知ることが出来た。これを機にどのようにすればこういった現状に貢献できるのか考えながら大学生活をしたいと思った。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 地域医療に対する理解。
- 地域医療の課題への問題意識。
- 勉強のモチベーション。

**●お世話になった方へのメッセージ**

今回の体験において関わってくださった皆さま、特にKさんには大変お世話になりました。

夏季医療実習を通じて多くの学びを得ることができ、自身の成長に確実に繋がったと実感しております。今後、雲南市立病院でお世話になる機会がありましたら、その際はどうぞよろしくお願い致します。

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

今回実習をさせていただいた雲南圏域は比較的面積が広く、在宅医療を進めていくにあたって、医師の「移動時間」の効率化が重要だと学んだ。そのためには、ケアマネージャーや看護師、介護士など他職種連携も不可欠だと強く感じた。

また往診では患者さんのご自宅に伺うことで、病院での診察だけでは見えてこない。普段の生活の様子やご家族との関わりまで知ることができ、より踏み込んだコミュニケーションが取れると実感した。さらに、患者さんの IC にも同席させていただいた際、患者さん本人と家族との間で意見の相違があったが、担当医と対話を重ねていくことで、最後はお互い納得のいく形になったことが印象に残っている。

そこでは、医師は治療だけでなく、その人の人生そのものに寄り添うことの大切さを非常に強く感じた。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

私はまだ1年生で医学に関する知識は乏しいが、これから学業に励み、医学知識や技術をしっかりと身に付けたい。

また、患者さんやそのご家族に寄り添うことのできる意思を目指し、普段から周囲の人の気持ちを考えて行動するなど、人としての成長も意識していきたい。

さらに、私は地元が県内であり、帰省しやすい環境にあるので、休日など帰れる時は地元に戻って、近所の人との交流や地元のイベントへの参加を通して地域の人に親しまれ愛される医師になりたい。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 病気だけでなく、患者さんの生活や家族関係まで意識して関わることの大切さに気づけたこと。
- 患者さんと目線合わせて自然に会話をすることが実践できたこと。
- 他職種連携を実際に見て、「チーム医療」への意識が高まったこと。

**●お世話になった方へのメッセージ**

実習のための様々な調整、また初日のオリエンテーションなど大変お世話になりました。おかげさまで3日間という限られた日程の中で、多くの経験と学びを得ることができました。地元である雲南で実習ができてよかったです。今後もよろしくお願いいたします。

**お世話になった病院関係者の皆様**

実習3日間大変お世話になりました。救急外来、外来診察、手術や往診など幅広く実習させていただき、そのなかで貴重なお話を伺うこともでき、非常に勉強になりました。私はまだ1年生であり、医療のことに詳しくわからないことが多くありましたが、忙しい中、丁寧にご指導いただきありがとうございました。この経験を生かして、今後もしっかり勉学に励み、将来は地域医療を守る一員として貢献できるよう努力していきます。

# 雲南地区 (飯南病院)

## 【令和7年度夏季地域医療実習実績報告】

|        |                      |
|--------|----------------------|
| 実施機関   | 島根県雲南保健所             |
| 実施年月日  | 令和7年8月18日(月)～20日(水)  |
| 実習協力機関 | 飯南町立飯南病院             |
| 宿泊場所   | 琴引ビレッジ山荘             |
| 参加人数   | 1名                   |
| 実習内容   | 飯南町における総合的な医療の実践について |

| 8月18日(月) |   | 8月19日(火) |                          | 8月20日(水) |  |
|----------|---|----------|--------------------------|----------|--|
| (時間)     | (内容)  | (時間)     | (内容)                     | (時間)     | (内容)                                   |
|          |   | 8:15     | 【飯南病院】<br>・朝礼カンファレンス     | 8:15     | 【飯南病院】<br>・朝礼カンファレンス                   |
|          |   | 9:00     | ・外来診療(内科初診)<br>・病棟業務(輸血) | 9:00     | ・外来診療(外科処置)                            |
| 10:00    | 【雲南保健所】<br>・オリエンテーション<br>・管内の概況説明           |          |                          |          |  |
| 11:10    | ・質疑応答                                       |          |                          |          |  |
| 11:15    | ・昼食、休憩                                      |          |                          |          |  |
| 12:15    | 【病院へ移動】                                     | 12:00    | 【飯南病院】<br>・昼食(病院食)       | 12:00    | 【飯南病院】<br>・昼食(病院食)                     |
| 13:00    | 【飯南病院】<br>・飯南町概況<br>・大腸カメラ<br>【在宅】<br>・訪問診療 | 13:00    | 【町内介護施設】<br>・施設回診(特養)    | 13:00    | 【在宅】<br>・訪問診療<br>【飯南病院】<br>・院長講義、実習まとめ |
| 17:00    | 【地域ケア会議】                                    | 17:00    | 【宿泊先】                    | 16:30    | (終了)                                   |
| 17:30    | 【宿泊先】                                       |          |                          |          |  |

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

病院の通常の診療を見学するだけでなく、地域包括ケア会議や訪問診療、施設回診などに同行し、飯南病院という地域で唯一の病院であるが故の独特な業務を体験し、飯南病院が地域で果たしている役割を学んだ。

また、最終日に院長先生の講義を聴講し、飯南町における地域医療の実践と、地域包括ケアのあり方について、地域医療のリーダーの立場としての考え方を学んだ。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

将来、自治医大卒業生として島根県の地域医療に携わっていく際の達成目標として今回の実習で見聞きしたことを活用して行きたいと考える。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 地域の実態を分析して、誰かがやらなければならないことを自分たちでやるという基本姿勢のもとに医療を提供することが地域医療の実践において鍵となると学んだ。
- 血液培養検体採取を通して、コンタミネーションに十分注意した手技の獲得が出来た。

**●お世話になった方へのメッセージ**

院長先生をはじめ、お世話になった飯南病院の先生方や事務の皆さまに、深く御礼申し上げます。

将来、同僚として共に地域医療に携わらせていただく機会があるかもしれません。その際は、本実習の経験も発揮し、お役に立てるよう尽力いたしますので、どうかよろしくお願いいたします。



実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

# 雲南地区 (町立奥出雲病院)

## 【令和7年度夏季地域医療実習実績報告】

|        |                     |
|--------|---------------------|
| 実施機関   | 島根県雲南保健所            |
| 実施年月日  | 令和7年8月18日(月)～20日(水) |
| 実習協力機関 | 町立奥出雲病院             |
| 宿泊場所   | サイクリングターミナル         |
| 参加人数   | 3名                  |
| 実習内容   | 以下実習結果のとおり          |

| 8月18日(月) |  | 8月19日(火) |                   | 8月20日(水) |                   |
|----------|--|----------|-------------------|----------|-------------------|
| (時間)     | (内容)   | (時間)     | (内容)              | (時間)     | (内容)              |
|          |  | 8:30     | 【町立奥出雲病院】<br>ラウンド | 8:00     | 【町立奥出雲病院】<br>ラウンド |
|          |  | 9:00     | 一般外来 等            | 9:00     | 一般外来<br>訪問看護同行 等  |
| 10:00    | 【雲南保健所】<br>・オリエンテーション<br>・管内の概況説明<br>・保健所の危機管理 |          |                   |          |                   |
| 11:10    | ・質疑応答  |          |                   |          |                   |
| 11:15    | ・昼食、休憩   |          |                   |          |                   |
| 12:15    | 【病院へ移動】  | 12:30    | 昼食                | 12:00    | 昼食                |
| 13:15    | 【町立奥出雲病院】<br>オリエンテーション<br>病院見学等                | 13:30    | 指導医からの実習等         | 13:30    | 訪問リハ・訪問看護同行       |
| 15:00    | 指導医からの実習等                                      | 14:00    | 訪問栄養指導同行          |          |                   |
|          |  | 15:00    | ディスカッション          | 15:00    | 振り返り              |
| 17:00    | 終了   | 17:00    | 終了                | 17:00    | 終了                |

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

今回の実習を通して、島根県の地域医療について、良いところと課題の両方を学ぶことができました。良いところとしては、患者さん1人1人との距離が近く丁寧に診療していることや、多職種間での情報共有がしっかりとされており、多職種連携が行われているという印象を受けました。課題としては、交通アクセスの問題があり医療従事者だけではなく行政とも協力していく必要があると分かりました。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

地域医療を通して1人1人の生活背景を理解しながら、丁寧に診療する必要があると感じました。今後の臨床実習や将来の診療の場でも単に疾患を診るのではなく、生活者としての患者さんを意識することを心がけたいと思います。地域医療は医師だけでは解決できない問題が多く多職種の視点を取り入れることが質の高い医療につながると感じました。今後は情報共有を円滑にする姿勢を養っていきたいと思います。また、交通アクセスの問題など医療従事者だけでは対応できない問題があると知りました。こうした現実を踏まえ、行政や地域住民との協働の必要性を理解し、将来は地域全体で健康を支える取り組みに参画したいと思います。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 多職種連携の重要性を体感し、協働する姿勢が強まりました。
- 地域に根ざした医療の価値を理解できるようになりました。
- 患者さんや家族とのコミュニケーションの大切さを実感できました。

**●お世話になった方へのメッセージ**

今回の地域医療実習では大変お世話になりました。先生やスタッフの皆さんがとても丁寧に教えてくださり、安心して学ぶことができました。患者さんとの距離の近さや多職種で協力しながら地域を支えている姿を間近で見ることができて、とても勉強になりました。3日間という短い時間でしたが、学んだことをこれからの勉強や実習に活かしていきたいと思います。

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

今回の実習では、患者の家に訪問することの重要性を理解することができた。訪問看護に携わっておられる看護師から聞いた話で印象に残っていることは、今までに訪問した家の中にはゴミ屋敷や屋根が抜け屋内に雪が降ってくる家があったということだ。また、病院の診察ではしっかりとした人に見えても、実際に家に行ってみると問題だらけの場合もあると聞いて、家に訪問して診療を行うことの重要性を実感した。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

今回の実習では、山間地域ならではの医療問題についても深く知ることができた。そこから、どのような医療が山間地域で求められるようになるのか考えていきたいと思った。また、医師が患者の不安を和らげるためにしている工夫についても知ることができた。将来医師として診療をする際、そのような工夫を参考にしていきたいと思った。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 欠かさず挨拶や感謝することができた点。
- 将来どんな医師になりたいか考えることができた点。
- 今までの実習と比べ患者と円滑にコミュニケーションがとれた点。

## ●お世話になった方へのメッセージ

今回の実習では、ご自身の仕事もあり忙しい中、私たちのために時間を割いて指導にあたってくださり誠にありがとうございました。普段の生活ではほとんど見る事ができない訪問診療や外来などの様子を見させて頂く中で、都市部と山間地域での医師のあり方の違いや山間地域ならではの医療について深く知ることができ、大変貴重な学びの機会となりました。

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

- ・地方の医療は自分たちが想像しているよりもずっと逼迫している状態だったこと。
- ・地域医療を守るために医療従事者が工夫を凝らしていたこと。
- ・医師になるためには自分が思っていたよりも努力と覚悟が必要だということ。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

- ・医学生として医療を学ぶときに今回の実習で感じた医療の厳しさや覚悟を思い出し、医療従事者になるという自覚を持って学ぶ姿勢をとり続けたい。
- ・自身が地元に戻って医師として働くときに今回の実習で学んだことを応用したい。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 地域医療の現状とちゃんと向き合えたこと。
- 年齢や性別関係なくたくさんの人とコミュニケーションを取れたこと。
- 最低限の礼儀作法を習得したこと。

## ●お世話になった方へのメッセージ

大変お忙しい中、私たちのために貴重な時間を割いて医療実習を開催していただき本当にありがとうございました。今回学んだことを必ず活かし、地域医療を支える医師として成長できるようこれからも努力し続けます。

# 出雲地区

## 【令和7年度夏季地域医療実習実績報告】

|        |   |
|--------|---|
| 実施機関   | 島根県出雲保健所  |
| 実施年月日  | 令和7年8月19日(火)～21日(木)   |
| 実習協力機関 | 出雲市立総合医療センター、島根県立こころの医療センター、医療法人 須谷医院、医療法人つたや会 在宅診療所いずも、社会福祉法人創文会 ハートピア出雲 |
| 宿泊場所   | 自宅  |
| 参加人数   | 2名  |
| 実習内容   | 出雲圏域における地域医療について学ぶ  |

| 8月19日(火)       |   | 8月20日(水)       |  | 8月21日(木)                       |   |
|----------------|---|----------------|--|--------------------------------|---|
| (時間)           | (内容)  | (時間)           | (内容)   | (時間)                           | (内容)  |
| 8:30           | 保健所集合<br>【保健所実習】<br>オリエンテーション<br>管内概況<br>保健所業務等の説明<br><br>(昼食;所内) | 8:30<br>9:00   | 保健所出発<br>病院実習(1日)<br>【出雲市立総合医療センター】<br>健診センター、リハビリテーション技術科、内視鏡検査等の見学<br><br>(昼食;病院内) | 8:30<br>9:00<br>11:30<br>12:00 | 保健所出発<br>病院(精神科)実習<br>【県立こころの医療センター】<br>精神科医療の状況<br>院内見学<br>実習終了<br><br>(昼食;就労支援事業所のレストラン「あそび」) |
| 13:00          | 訪問診療実習<br>【須谷医院】(1名)<br>訪問診療同行<br>【在宅診療所いずも】(1名)<br>訪問診療同行        | 13:00          | 地域医療連携の現状等の説明  | 13:00                          | 【ハートピア出雲】<br>施設見学<br>社会資源の役割、地域支援の実際について<br>当事者との交流 等   |
| 16:00<br>16:30 | 実習終了<br>保健所着、記録まとめ  | 16:00<br>16:30 | 実習終了<br>保健所着、記録まとめ   | 16:00<br>16:30                 | 実習終了<br>保健所着、意見交換   |
| 17:15          | 終了  | 17:15          | 終了   | 17:15                          | 終了  |

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

今回の実習では訪問診療がいかに島根県の地域医療を支えているのかを学ぶことができました。私も実際に先生方の診療に参加させていただきましたが、ほぼ出雲全域を回られており、認知症の患者さんや脳出血で四肢が不自由な患者さんにも丁寧に接しておられました。どんな患者さんにも笑顔で対応していたところが印象的でした。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

今回の実習で自分の理想の医師像が明確化しました。自分も先生方のように患者さんと同じ目線で地域に寄り添える医師になりたいと思いました。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 患者さんと円滑なコミュニケーションをとれるようになった。
- 挨拶を心掛けられるようになった。
- 患者さんの気持ちをより深く慮ることができるようになった。

## ●お世話になった方へのメッセージ

この3日間で自分は人としても、また医療人としても成長できたと思います。このような体験ができましたのもすべて支えてくださった保健所の方々であったり、病院のスタッフの皆様のおかげです。本当にありがとうございました。



実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

今回の実習では、島根県内でも比較的発展している出雲の医療について学ぶことができた。

一日目に、保健所が担う役割はこころの健康に関することから難病対策まで多様であることを知った。また実習中に訪問診療に関する話を何度か伺い、同行もさせてもらった。その過程で、出雲地区内でも中心部から離れると山々が広がり、患者さんの家や病院の間隔が広がっていたため、訪問診療の必要性がかなり高いことを実感した。

精神科を見学することは私の実習中の目標の一つであったが、病院内の構造から病棟、箱庭療法などの治療法を見学して理解を深めることができ、大きな学びになった。特に保護室では、鉄格子やトイレの構造など安全性の工夫が施されていた点に驚いた。ハートピア出雲では相談支援専門員の方から、障がいを持つ人のニーズに応えるその体制について話された。彼らが頼ることのできる環境が整っていることで、多くの患者さんが救われるだろうと感じた。

今回の実習では大きな病院だけでなく診療所や保健所、福祉施設まで見学し、全体的に地域連携型医療がどのようなものかということに対する知見が広がった。これまでは曖昧な理解であったが、実習を通して理解を深めることで、将来医師として勤務する上でのビジョンがより明確になったように思う。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

実習を通じて、病院内の各所や訪れた各施設でどのようなことが行われているか、体験を伴って理解することができたため、自分が医師として働く上でのビジョンが明確化した。医療安全や訪問診療についての講義で学んだ知識や、福祉施設で学んだ患者さんとの関わり方なども臨床の現場に活かしたい。また、医療の専門的な知識や技術はまだ何も身に付けておらず、未熟であるとも感じた。今後大学でそれらを学んでいく過程で今回のことを思い返し、向上に努めていきたい。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 保健所、訪問診療、福祉施設での話を聞いて、これまで知らなかったことを多く学び、体制や行われている工夫を知ることができた。
- 内視鏡検査や肝穿刺検査を見学して、画像の読み取り方を学ぶとともに、今後必要となる医学知識や技術を身に付けていくために多くの努力をしなければならないと自覚した。
- 地域連携型医療の実態について具体的に理解できた。

**●お世話になった方へのメッセージ**

保健所で案内をしてくださったUさんをはじめ、各所で多くの方にさまざまなことを教えていただきました。とても貴重な体験となり、皆様のおかげで地域医療についての理解を深めることができました。今回得たものを今後の歩みに活かしていく所存です。本当にありがとうございました。

# 県央地区 (大田地区)

## 【令和7年度夏季地域医療実習実績報告】

|        |  |
|--------|--|
| 実施機関   | 島根県県央保健所   |
| 実施年月日  | 令和7年8月19日(火)～21日(木)  |
| 実習協力機関 | 大田市立病院、中村ブレイス株式会社、<br>医療法人社団悠伸会 うめがえ内科クリニック、<br>こまめクリニック、亀の子 |
| 宿泊場所   | スカイホテル大田&NEWスカイホテル   |
| 参加人数   | 2名   |
| 実習内容   | 大田圏域における地域医療について   |

| 8月19日(火) |   | 8月20日(水) |  | 8月21日(木) |                               |
|----------|---|----------|--|----------|-------------------------------|
| (時間)     | (内容)  | (時間)     | (内容)   | (時間)     | (内容)                          |
| 9:00     | 【県央保健所】<br>オリエンテーション<br>所長講話                  | 8:50     | 【こまめクリニック:1名】<br>外来診療、訪問診療<br>※16時まで診療所実習、その後、大田市立病院へ移動し | 8:20     | 【うめがえ内科クリニック:1名】<br>外来診療、訪問診療 |
| 10:10    | 移動(タクシー)                                      |          | レジデントセミナー、夜間当直体験実習                                       | 9:00     | 【大田市立病院:1名】<br>病院実習           |
| 10:30    | 【中村ブレイス(株)】<br>義肢装具製作所見学など                    | 9:00     | 【大田市立病院:1名】<br>病院実習                                      |          |                               |
| 12:00    | 昼食<br>移動(タクシー、公用車)                            |          |  | 16:00    | 実習終了                          |
| 14:00    | 【亀の子】<br>障がい者の地域支援及び就労支援、福祉サービスの見学<br>移動(公用車) |          |  | 16:20    | 【県央保健所】<br>報告会                |
| 16:30    | 実習終了<br>移動(公用車)                               | 16:30    | レジデントセミナー  | 16:50    | 報告会終了<br>移動(徒歩)               |
| 17:00    | 宿泊<br>(ホテル)                                   | 17:15    | 夜間当直体験実習   | 17:16    | 大田市駅発<br>(出雲市駅行き)             |
|          |   | 21:00    | 実習終了<br>宿泊<br>(ホテル)                                      |          |                               |

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

- ・患者さんとのコミュニケーションを知る。

⇒うめがえクリニックの温かい診察室や訪問診療の雰囲気を見て、こんな形の“医療”があるんだと驚きを感じました。これまで自分が医療機関を受診するときは、何かしら症状があって、心も体もしんどい状況だったので、後遺症があったり慢性的に薬を飲まなくてはいけなかったりはするけれどある程度落ち着いている経過観察や定期受診の患者さんがこれだけたくさんいることに驚きました。後遺症や定期受診が必要な方、そのご家族が安心した雰囲気、笑顔で通いつけているのは先生方のコミュニケーションがあるからだなと思いました。皮膚のかゆみや手続きなど、色んなことを相談しているのが印象的でした。訪問診療で施設(サービス付き高齢者住宅)に入られた方をみるときも、長年のつきあいのある先生に診てもらえたら安心だなと感じました。こういった、なんでも相談できる役割としての医療、長年診てもらっている役割としての医療が、地域の方の安心できるくらしのために、身近に必要なだと感じました。

- ・どういった視点を持って地域/地域医療のことを見ているのか知る。

⇒保健所の方からは県・二次医療圏の視点から、市役所の方からは市の視点から、大田市立病院の医師からは一人の医師としての視点から、地域の医療の足跡と課題を教えてくださいました。病院経営、診療報酬などのしくみの限界を感じ、『医療の枠組みを考え直す必要があるのかもしれない』と思いました。いろいろな方が言及していた総合診療医はその点、枠組みを超えて地域医療を支えていると思いました。また、人口減少に際して、医療を縮小していかなければいけないけれど、適切に縮小していく必要がある、という考え方が新鮮でとても納得できました。人口が少ない地域でどこまでの医療を提供するべきなのか、医師を派遣すればいいのか交通手段を設ければいいのか、どんな機能があればそもそもの課題は解決するのか等、『機能の集約』についての問いが増えました。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

- ・知ったことをもとに、地域にどんな人、どんな医師が求められているのかを知り自分の今後に生かす。

⇒U先生のように温かいコミュニケーションができる医師になる。

- ・島根の課題を知る。

⇒人口減少時代においてどのように医療を縮小していくべきかを考える。経済的な点も学ぶ。

⇒技量で経済を回し雇用を生み地域を支える中村ブレイスがかっこよかった。“医療”以外でも自分も何かできないか考える。

- ・他職種とのコミュニケーションを知る。

⇒リハビリ科でのリハビリスタッフとの連携、訪問診療時の介護スタッフ、訪問看護さんとの連携を見ることができた。リハビリ科医に対する興味が湧いた。在宅医療を支える訪問看護についてもっと学ぶ。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 亀の子さんでは就業支援事業の種類を知れた。設備の工夫を知れた。
- 医学知識を間近で見聞きして、授業で出てきたら自分事として学べると思うようになった。
- 地域医療に対する視点が増えた。

## ●お世話になった方へのメッセージ

温かく迎え入れてくださりありがとうございました。また大田に行ける日まで、知識をつけ経験を積んでいこうと思います。

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

今回の実習の目的は、大田市立病院とその他の職種や組織が具体的にどのようにして連携しているのかわかることでした。県央保健所、中村ブレイス、亀の子、こまめクリニック、大田市立病院で実習をさせていただき、それぞれの施設で様々な職種の方々が地域に参画することで医療や福祉が提供され、結果的に支え合っていることを実感しました。実習前は、患者さんが退院する際が多職種連携ばかりに注目していましたが、今回の実習を通して、地域全体で日常的に多職種連携は行われていて、その地域に住む方々の生活を守っているということを学びました。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

今回の実習を通して、医師だけでなく、様々な立場の方々と協力して医療を行うこと、そして患者さんもお一人お一人が異なる存在であることを改めて感じました。今後の大学生活では、多様な経験を重ねるとともに、多くの方々と積極的に交流し、自分の視野を広げていきたいと思います。また、実習を通じて、医学の知識や技術を学ぶことと実際に患者さんに向き合う医療は異なる面があること、そして常に患者さんの視点を忘れないことの重要性を学びました。これからも患者さんの立場に立った見方や考え方を持ち続けながら、さらに学びを深めていきたいです。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 自分の将来についてより具体的に考えられるようになった。
- 島根県の医療についてさらに深く知り、考えることができた。
- 医師がどのような気持ちで患者さんと向き合っているかを学べた。

## ●お世話になった方へのメッセージ

お忙しい中、実習の機会をいただき、本当にありがとうございました。今回の実習で学んだことを心に留め、島根県の医療に少しでも貢献できる医師になれるよう、これからの勉強や様々な経験に楽しみながらも真剣に取り組んでいきたいと思っています。



## 実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

# 県央地区 (邑智地区)

## 【令和7年度夏季地域医療実習実績報告】

|        |                            |
|--------|----------------------------|
| 実施機関   | 島根県県央保健所                   |
| 実施年月日  | 令和7年8月18日(月)～20日(水)        |
| 実習協力機関 | 公立邑智病院、加藤病院、中村ブレイス株式会社、亀の子 |
| 宿泊場所   | スカイホテル大田&NEWスカイホテル         |
| 参加人数   | 2名                         |
| 実習内容   | 邑智郡における地域医療実習              |

| 8月18日(月) |                       | 8月19日(火) |  | 8月20日(水) |                     |
|----------|-----------------------|----------|--|----------|---------------------|
| (時間)     | (内容)                  | (時間)     | (内容)                                   | (時間)     | (内容)                |
| 8:00     | 【大田市駅集合】<br>移動(公用車)   |          |  |          |                     |
| 9:00     | 【加藤病院】<br>実習(在宅診療を含む) | 9:00     | 【県央保健所】<br>オリエンテーション                   | 9:00     | 【公立邑智病院】<br>病院実習    |
|          |                       | 10:10    | 所長講話                                   |          |                     |
|          |                       |          | 移動(タクシー)                               |          |                     |
|          |                       | 10:30    | 【中村ブレイス(株)】<br>義肢装具製作所見学など             |          |                     |
| 12:00    | 昼食                    | 12:00    | 昼食                                     | 12:00    | 昼食                  |
|          |                       |          | 移動(タクシー、公用車)                           |          |                     |
|          |                       | 14:00    | 【亀の子】<br>障がい者の地域支援及び就<br>労支援、福祉サービスの見学 | 15:15    | 実習終了<br>移動(タクシー)    |
|          |                       |          |  | 16:20    | 【県央保健所】<br>報告会      |
| 16:30    | 実習終了<br>移動(タクシー)      | 16:30    | 実習終了<br>移動(公用車)                        | 16:50    | 報告会終了<br>移動(公用車)    |
| 17:15    | 宿泊<br>(ホテル)           | 17:00    | 宿泊<br>(ホテル)                            | 17:16    | JR大田市駅発<br>(出雲市駅行き) |

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

「限られた資源を最大限に活かす姿勢」「患者さんに寄り添う姿勢」を学ぶことができました。実習先の病院や福祉施設では、限られた人員とお金で医療を回していく必要があり、決して余裕があるわけではありません。その中で最新機器を活用しつつ、医師や看護師、リハビリスタッフが役割を柔軟に担い、助け合いながら、患者さんの生活全体を支えるような医療を展開している姿が印象的でした。また、患者さんや住民の方々と距離の近さも学びの一つでした。医療が単に病気を治すものではなく、医学知識だけでは対応できない課題に直面する中で、医療の本質に改めて触れる貴重な経験となりました。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

今回学んだ「限られた環境の中で最適解を模索する姿勢」は、将来都市部で働く際にも必ず役立つと思います。都市部では医療資源が豊富にある一方で、年齢、経済状況、生活環境、人種などより多様な背景を持つ患者さんを相手に、より多くの患者さんを相手にする医療が求められます。患者さん一人一人に寄り添い、他職種と協働して問題を解決していく姿勢は、都市部でも重要です。今回の経験を、自分のキャリアの中で「患者中心の医療」を追求する原点として活かしていきたいと考えています。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 患者に寄り添う医師一人一人のあるべき姿勢。
- 慣れない環境でも自分の知りたいことに対して積極的に見聞きする姿勢。
- 効率だけで考えるのではなく、地域をより良くするための医療の考え方。

**●お世話になった方へのメッセージ**

実習受け入れ先の皆様、短い期間でしたが、貴重な時間を割いて見学や体験などさせていただきありがとうございました。島根県には初めて訪れましたが、実習で関わる方全員が物腰柔らかく、真摯に仕事に取り組むかっこいい姿が印象的でした。「患者中心の医療」を追求する原点として、将来医師となりつらくなったときにこの実習のことを思い出したいと思います。ありがとうございました。



## 実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

本実習で特に心に残ったことは、生活を見据えてサポートすることである。人口減少や高齢化が進む中、医療へのアクセスの多様化(診療所や訪問診療に加え、集会所での診療やMaaS、オンライン診療、医療近接型住まいの活用など)やデジタル化、多職種・多分野(診療科を超えた助け合い・行政・福祉など)連携など様々な方法で地域住民の健康を支えていることがわかった。多職種・多分野連携は患者を包括的に支えるためだけでなく1人1人の生産性を高めることになり結果的に病院経営をよくすることにもつながることを学べて、なるほどと思った。また民間病院と公立病院両方を訪問し、民間病院のアイデアや様々な事業や工夫、医療と介護がより密に連携できる良さと、採算が必ずしも合わないことであっても地域とこの地域の住民を守るという公立病院だからこそその役割やそれを踏まえた工夫など、両者の共通・相違点や良い面・課題などを実際に経験として学ぶことができ、今まで以上に地域医療を深く考えさせられた。

上記に加え、中村ブレイスや亀の子を訪問し、病院や診療所、訪問診療などいわゆる医療現場から離れた立場のことも学んだ。中村ブレイスは国内外でシェア拡大しているが発祥地でかつ本社のある地元の大田市を大切にしながら、義肢・装具の製作のみならず人づくりやまちづくり(大森の古民家再生やパン屋や図書館の開設など)も力を入れおられたりするとところが本当に魅力を感じた。亀の子では様々な事業を展開しつつ、利用者が地域の方と交流したりする機会も多いと聞き、利用者にとってもそうでない方にとっても大事なことだと思った。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

実習前に知りたかったことを実習中で触れることができ、また新たな発見もたくさんあり、視野を広げることができた。今回学んだことを将来に活かしていきたい。一方で、私は将来地域医療を担う立場にあるが、地域の人々の暮らしを支えるには医療だけでは不十分ということも学んだ。今後は医学部での学習に尽力するとともに、島根県内外、様々な地域における取り組みを調べたりこのような実習があれば参加したりして、未知のアイデアに触れていきたい。またまちづくりについても、医療に限らず広い視点で、色んな社会や文化を知っていきたい。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 小さい頃から今まで自分が見聞きした地域医療の形(診療所や訪問診療、総合診療科、多職種・多分野連携による包括ケアなど)の役割の重要性と、初めて知る地域医療のあり方(MaaSや集会所での診療、医療近接型住まいなど)から医療へのアクセスの多様性を知ることができた。
- 地域の病院経営の仕組みを部分的に学ぶことができた。経営状況の変遷や立て直し・維持のための様々な工夫を学ぶことができた。
- 地域の民間病院と公立病院の両者の共通・相違点や良い面・課題などを実際に経験として知ることができた。

**●お世話になった方へのメッセージ**

3日間貴重な経験をさせていただきありがとうございました。今回は3日間とも異なる施設を訪問させていただき、大田圏域の医療の現状や街の魅力を様々な視点から学ぶことができました。皆様ご丁寧に説明して下さったおかげで新たな発見が沢山ありまして、地域医療や人を支えるとはどういうことかを深く考えさせられました。この経験を今後の学習や将来に活かしていきたいと思います。たくさんの方にお世話になりました。本当にありがとうございました。

# 浜田地区

## 【令和7年度夏季地域医療実習実績報告】

|        |   |
|--------|---|
| 実施機関   | 島根県浜田保健所  |
| 実施年月日  | 令和7年8月18日(月)～20日(水)   |
| 実習協力機関 | 独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター、<br>島根県済生会江津総合病院、西部島根医療福祉センター、<br>社会医療法人清和会 西川病院、浜田市国民健康保険診療所(波佐診療所、弥栄診療所、あさひ診療所) |
| 宿泊場所   | ホテルルートイン浜田駅前  |
| 参加人数   | 4名  |
| 実習内容   | 浜田圏域における地域医療・保健・福祉体制について  |

| 8月18日(月) |   | 8月19日(火) |   | 8月20日(水) |   |
|----------|---|----------|---|----------|---|
| (時間)     | (内容)  | (時間)     | (内容)  | (時間)     | (内容)  |
| 8:30     | 浜田市国保診療所での実習<br>1班:波佐診療所(1名)<br>2班:弥栄診療所(2名)<br>3班:あさひ診療所(1名) | 8:30     | 西川病院、島根県済生会江津総合病院、西部島根医療福祉センターでの実習<br>1班:西部島根医療福祉センター(1名)<br>2班:島根県済生会江津総合病院(2名)<br>3班:西川病院(1名) | 8:30     | 浜田医療センターでの実習(4名)<br><br><br><br><br><br><br><br><br>浜田保健所長講話<br><br>意見交換会<br><br>実習終了 |

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

波佐診療所では、今回の実習で山間部での医療を見てみたいと思っていたのでとても良い経験ができました。山では農作業中にハチに刺されたりマダニに刺されたといった虫刺されが多いという特徴があるという話なども聞けました。西部医療福祉センターでは病棟におられる患者さんは呼吸器などをつけているため薬の経口投与が難しいのでほぼ全員の患者さんがシリンジを用いて薬を投与しているというのが印象的でした。浜田医療センターでは島大、鳥大、山大と協力して医局から医師を派遣することで診察できる科を幅広くしているという事を学びました。今回の実習で健康寿命を伸ばしていくことがやはりとても大切だと再認識でき、浜田地区ではそういう部分にも力を入れていたので良いなと思いました。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

今回の実習で自分が日々学んでいることが患者さんにこのように還元されていくのだと感じることが多くあり、日々の勉強の中ではなかなか気づけないことなので嬉しく思いました。その気持ちを忘れずまだまだある基礎医学の知識を沢山吸収していきたいと思います。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- やはり医療はいろんな方々の協力のもと成り立っているものだと肌で感じることができました。
- 自分は西部の医療についてあまり詳しくなかったのが浜田の医療がどのあたりの地域の役割を担っているのかを学ぶことができました。
- 自分が基礎医学として学校で学んでいることがこのようにして臨床で役立っているのかと沢山発見することができました。

## ●お世話になった方へのメッセージ

この度は病院実習で大変お世話になり誠にありがとうございました。忙しい中にも関わらず丁寧にご指導いただき、また温かく接していただいたことで安心して学ぶことができました。今回の経験を活かして日々の学習へと繋いでいき更に邁進してまいります。



## 実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

今回の実習で、私は僻地ではどのような医療が行われているのかということを実際にみることで、深く学ぶことができました。その中で私は、僻地での医療で大事なことは、患者さんの病気だけに焦点を当てるのではなく、患者さんの人生全体に目を向けることだということだと学びました。僻地では、患者さんの大半が高齢者であるということから、患者さんの残りの人生をどう豊かなものにすることができるかそれを第一にすることは、僻地で医療を提供する上で、最も考えないといけないことだということを知りました。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

私自身、総合診療医や、訪問診療などの分野に興味を持っているので、今回実際見て学んだことを踏まえて将来なりたい医師像を決定していきたいです。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 地域医療に対する理解度が上がった。
- まだ見たことのない診療科も見ることができた。
- 医師以外の仕事も見ることができた。

## ●お世話になった方へのメッセージ

今回の実習では、弥栄診療所さん、西川病院さん、浜田医療センターさんでお世話になりました。

お忙しい中とても貴重な機会をくださり本当にありがとうございました。

今回の実習で、浜田はとても良いところだなと思うとともに、私自身も将来浜田で働いてみたいという考えも持ちました。

今回の実習で得た学びをこれからの学生生活に活かしていきたいと思います。



## 実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

診療所や総合病院、保健所での実習を通じて、多職種が連携しながら患者を支え、単に病を治すのではなく「どう生きたいか」に寄り添う地域医療の在り方を学んだ。済生会江津総合病院では、超高齢化が進む地域において、急性期から慢性期への移行支援、介護施設や訪問看護との後方連携、救急・転院対応など前方連携の双方を担い、地域に不可欠な役割を果たしていることを実感した。また、訪問リハビリでは高齢患者が運動を習慣化する意義を知り、患者自身の自立がQOL向上と介護人材不足の解消の双方に寄与することを理解した。さらに、手術室での衛生管理や保健所における感染症対策から精神保健、生活習慣病予防や難病対策、環境衛生指導に至る幅広い取り組みを学び、医療が地域全体の幸福を支える営みであると強く感じた。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

今回の実習を通して、医療は決して一人で成り立つものではなく、多職種で連携しながら患者さんを支える営みであることを学んだ。この経験を踏まえ、今後の学習や臨床実習の場でも、常に「患者さんを生活者として捉える視点」と「チームの一員として主体的に関わる姿勢」を意識していきたい。また、地域の高齢化や医療資源の限界といった現実に対して、自ら課題意識を持って知識を深め、将来は地域に根差し、住民の健康と生活を支えられる医師として貢献していきたい。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 患者さんが何を望むかという、「一人の人生に寄り添うためにどうするか」という視点を持てた点。
- 多職種連携の重要性を理解した点。
- その場で生じた疑問を放置せず、質問をできるようになった点。

**●お世話になった方へのメッセージ**

この度、様々な医療機関で実習を行うことができたのは、保健所の皆さんによる関係各所へのご調整とご尽力のおかげであると思います。厚く、御礼申し上げます。

また、実習を受け入れてくださった医療機関の「弥栄診療所」「済生会江津総合病院」「浜田医療センター」(敬称略)の皆さまには、大変お世話になりました。通常業務でお忙しい中にもかかわらず、臨床の知識が全くない私に対して、患者さんの病状や地域医療の在り方を噛み砕いて教えてくださり、大変貴重で有意義な経験をさせていただきました。そして、すべての実習で緊張をしていましたが、皆様のご配慮のお陰で、私自身すべての実習を楽しむことができました。

まだ一年生ではありますが、これから約6年間、島根県の医療に貢献できる医師となるべく研鑽を積んでまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

今まで見学に行ったことのない浜田地域での見学をしたことで自分の地元である江津市とどのような違いがあるのかを学ぶことができた。私は今まで地域の診療所や浜田医療センターのような急性期の患者さんを扱う病院に見学に行ったことがなかったので、診療所ではより患者さんの性格や生活に踏み込んだアドバイスや診療所間での連携を見ることができたし浜田医療センターでは実際の手術の様子などを知ることができた。田舎の病院だからかどうかはわからないけどほしい薬が手元にも近くの病院にもないといった状況になったときどうするべきなのかについては考えさせられた。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

まだ医療関係の知識がないのでこれから学校で学んでいくときにこの言葉はこんな意味だったなとかこの数値は何を表していたな、など振り返りながら活用していけたらいいなと考える。また先生方の患者さんへの対応や話し方などいろいろ吸収することができたと思うのでいつか役立てられるようになりたい。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 初対面の方々にもきちんと会話をできるようになった。
- 初めて見る光景にも怖気づかなくなった。
- 自分の将来像を少しずつ固められるようになった。

## ●お世話になった方へのメッセージ

この度は地域医療実習で大変お世話になりました。診療所から病院、訪問、救急、手術見学に至るまで幅広い経験をさせていただき、地域医療の奥深さを学ぶことができました。先生方やスタッフの皆様からのご指導、患者さんやご家族との関わりの中で学んだことを今後の学習に活かしていきたいと思います。将来は江津・浜田地域に戻って医師として活動したいと考えているのでまた実習などでお世話になるかもしれません。本当にありがとうございました。



## 実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

# 益田地区

## 【令和7年度夏季地域医療実習実績報告】

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| 実施機関   | 島根県益田保健所                            |
| 実施年月日  | 令和7年8月19日(火)～21日(木)                 |
| 実習協力機関 | 益田赤十字病院、津和野共存病院、<br>益田地域医療センター医師会病院 |
| 宿泊場所   | 益田グリーンホテルモーリス、実家                    |
| 参加人数   | 4名                                  |
| 実習内容   | 益田圏域における地域医療について                    |

| 8月19日(火) |                                    | 8月20日(水) |                      | 8月21日(木) |                                     |
|----------|------------------------------------|----------|----------------------|----------|-------------------------------------|
| (時間)     | (内容)                               | (時間)     | (内容)                 | (時間)     | (内容)                                |
|          | (各自)ホテルチェックイン                      | 8:00     | 宿泊ホテル出発              | 8:10     | 宿泊ホテル出発                             |
|          |                                    | 9:00     | ○津和野共存病院<br>・外来診療見学等 | 8:30     | ○益田地域医療センター<br>医師会病院<br>・外来診療・院内見学等 |
|          |                                    | 12:00    | 昼食・休憩                | 12:00    | 昼食・休憩                               |
| 13:00    | ○益田保健所集合<br>・所長講義<br>(益田圏域の概況について) | 13:00    | ・訪問診療見学等             | 13:00    | ・巡回診療見学等                            |
| 14:45    | 保健所出発                              |          |                      |          |                                     |
| 15:00    | ○益田赤十字病院<br>・診療、夜間救急見学等            | 16:00    | 実習終了<br>ホテル宿泊        | 16:00    | 医師会病院出発                             |
|          |                                    |          |                      | 16:15    | ○益田保健所<br>・意見交換会                    |
|          |                                    |          |                      | 17:15    | 実習終了<br>解散                          |
| 21:00    | 実習終了<br>ホテル宿泊                      |          |                      |          |                                     |

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

自身の生まれ育った益田市の地域医療を支える病院である、益田日赤や医師会病院、津和野共存病院で実習を行えたことで、益田市の抱える医療問題を顕著に見ることができた。病院のない地域の医療をどう支えていくか、病院の経営赤字をどう解消していくかなどが問題なのではないかと感じた。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

実習中に交流があった医師の方々の多くが、もっと解剖や薬理学等の基礎を真剣に取り組んでいればよかったと言っておられたので、これからの講義を有意義なものになるよう、真剣な態度で臨もうと思う。また、医師の方々が苦しんでおられる患者を救う姿は非常にかっこいいもので、自分も大学に戻って、しっかり知識や技術を身につけて、また貢献できるようになって戻ってきたいと感じた。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 患者との会話を通して、コミュニケーションの幅が出た。
- 課題を見つける能力が向上した。
- 意欲的に関わろうと行動できるようになった。

## ●お世話になった方へのメッセージ

ただでさえ忙しい中、私たちの実習にご協力いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。皆様のおかげで、非常に有意義な実習にすることができました。大学に戻り、しっかり知識や技術を身に付け、必ず戻って来ますのでその時はお願いします。



## 実習風景

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

今回益田圏域で行った地域医療実習で病院見学、訪問診療、外来診療、救急診療、訪問介護といった様々なことを見学して、まずは益田圏域での医療の現状を身を持って知ることができた。益田圏域には第3次医療機関がなく、病院によっては手術を行っていない病院も複数あり、一人の患者さんを複数の病院で診ることが多く、病院間の密な連携が行われていることが印象に残った。また訪問診療、訪問介護では医師の方や看護師の方、理学療法士の方が患者さんだけでなくその家族のことを詳しく知っていて、患者さんにとって医療従事者がとても身近な存在であることが地域医療の特徴であると知った。

**●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか**

今回の実習を通じて、地域医療がどのような体制で行われているか、地域の課題や良い点を知ることができた。実習に参加する前は地域医療に関して漠然としたイメージであったが、実習に参加してみて地域医療に関して見識が深まり、より興味を持ったため、これから地域医療に関するセミナーや講義に積極的に参加し、より地域医療に関する知識や理解を深めていきたい。

**●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点**

- 益田圏域についての医療体制を知ることができた。
- 地域医療の現場で働く医師としてイメージが湧いた。
- 患者さんとの関わり方や多職種連携の理解。

**●お世話になった方へのメッセージ**

この度は忙しいなか貴重な学びの機会を提供していただきありがとうございました。地域全体で支える医療の姿を間近で体験し、医療者として大切にすべき姿勢を学ぶことができました。今回の経験を今後の学びに繋げ、将来地域に貢献できる医師を目指して頑張ります。

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

私は東京出身で医療に恵まれてきた。小さな病気であれば、各分野ごとの病院がいくつもあり、大きな病気であれば大学病院を頼ることができた。今回の実習では、大都市圏とは大きく異なる、地域に根ざした医療のあり方を学べた。提供できる医療に限界があるからこそ、地域ごとの各病院で上手く分業がなされていた。小さい病院では幅広い、緊急性の低い病気を対処し、大きな病院では逆のことを行っていた。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

自分の将来の医師像を考える上で、社会に最も役立つ医師とはどういった人であるかを様々な視点からとらえる機会となり、地域に根ざした患者さんの心の部分を大切にできる医師か大病院で技術やサイエンスの方面で患者さんの役に立つ医師になるかを考える指標になった。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- どんな医療のあり方があるかを認識する意味で、視野が広がったこと。
- 患者さんとの意思疎通や医師同士の連携においてコミュニケーション能力の重要性に気づけたこと。
- 少ないながらも医療知識が増えたこと。

## ●お世話になった方へのメッセージ

忙しいながら、未熟な私たちを教育していただき、ありがとうございました。

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

今回の実習では、地域と病院について大きく学びました。  
病院だけや住民だけでなく、双方が支えあうことで医療体制が守られているのだと知りました。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

自分が今後島根県で働いていくうえで今回学んだことを大切に、ただ医療を提供するだけでなく、地域の方に寄り添えるように活かしていきたい。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 地域医療について知ることができた点。
- 利他的な考え方について学べた点。
- 救急医療のイメージをつかめた点。

## ●お世話になった方へのメッセージ

今回の実習で人としても医療に携わる人としても大きく成長できたと思います。  
ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

# 隠岐地区（島後地区）

## 【令和7年度夏季地域医療実習実績報告】

|        |  |
|--------|--|
| 実施機関   | 島根県隠岐保健所   |
| 実施年月日  | 令和7年8月18日(月)～21日(木)  |
| 実習協力機関 | 隠岐広域連合立隠岐病院、隠岐の島町地域包括支援センター、<br>社会福祉法人隠岐共生学園 ともいきの郷、高梨医院、<br>隠岐の島町国民健康保険 五箇診療所 |
| 宿泊場所   | HOTEL ここ   |
| 参加人数   | 2名   |
| 実習内容   | 隠岐島後地区における保健・医療、地域医療体験   |

| 8月18日(月) |                                   | 8月19日(火) |                               | 8月20日(水) |                      | 8月21日(木) |                     |
|----------|-----------------------------------|----------|-------------------------------|----------|----------------------|----------|---------------------|
| (時間)     | (内容)                              | (時間)     | (内容)                          | (時間)     | (内容)                 | (時間)     | (内容)                |
|          |                                   | 8:45     | 【隠岐の島町地域<br>包括支援センター】         | 8:20     | 【隠岐病院】<br>産婦人科見学     | 8:30     | 【五箇診療所】<br>外来見学(1名) |
|          |                                   | 10:00    | 高齢者家庭訪問                       |          | 救急外来見学<br>胃カメラ見学     |          | 【高梨診療所】<br>外来見学(1名) |
| 11:25    | 西郷港着<br>休憩・昼食                     | 11:00    | 昼食・休憩                         | 11:30    | 昼食・休憩                |          |                     |
| 13:00    | 【隠岐病院】<br>病院案内<br>外來說明<br>救急症例検討会 | 12:00    | 【隠岐病院】<br>帝王切開見学              |          |                      | 12:00    | 昼食・休憩               |
|          |                                   | 14:00    | 【隠岐病院(認知症<br>疾患センター)】<br>会議見学 | 14:20    | 【ともいきの郷】<br>通所リハビリ見学 | 13:00    | 振り返り、意見交換<br>会      |
|          |                                   | 16:00    | オリエンテーション<br>隠岐保健所長講義         | 16:30    | 解散                   | 14:00    | 解散                  |
| 17:00    | 解散                                | 17:00    | 解散                            |          |                      |          |                     |

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

今回の実習において、離島の医療の現状を体感することができました。隠岐圏域は域内人口が2万人と最も小さい二次医療圏であり、本土との連携が欠かせないことがわかりました。本土との連携においては、重症患者の本土搬送が一番に挙げられ、画像診断の依頼や本土病院への紹介、本土の医師への相談など幅広い分野に及ぶことがわかりました。また、本土だけではなく、病院内での診療科を超えた連携、診療所との連携など島内、組織内での連携も充実していることがわかりました。医療の持続が本土よりも切実な問題で、産婦人科、小児科などの減少、看護師を中心とする人員の不足が大きな壁になっており、どのように島で働く人を増やせるかが課題となっていました。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

今回の実習でお会いした医師の方が、生活習慣病の患者さんの生活を否定してはいけない、何度も辛抱強く語りかけて、生活を変えてもらうよう訴えるしかないとおっしゃっていたのが心に残っていて、患者さんとコミュニケーションをとる時には、患者さんの生活を深く知ってその上で一緒に改善策を考えていくということが重要であるとわかりました。こうした患者さんの常識は、学部での勉強を進めていくうちにどんどん遠くなっていくと思うので、まだ医師よりも患者さんに近い学生のうちにどのようなコミュニケーションを取ればよいのか考えたいと思いました。また、今後臨床科目を勉強するときにその裏にある患者さんの生活を考えながら、学んでいこうと思いました。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 島の病院は最後の砦であり、すべての患者を受け入れるという医療従事者の信念を肌で感じられた。
- 診察室での患者さんの姿だけではなく、患者さんの生活や地域性を知った上で治療を進めることの大切さを理解した。
- 病院内外、医療圏内外を問わない幅広い連携が地域医療において重要であることを学んだ。

## ●お世話になった方へのメッセージ

4日間本当にお世話になりました。保健所の方々が朝夕とも、笑顔で温かく送り迎えしてくださったので、初めての島根県、隠岐の島でしたが、不安な気持ちなど一つもなく実習に参加することができました。隠岐病院の皆様、基礎医学しか学んでいない私に疾患や手技の基礎的な所から丁寧に教えてくださり本当にありがとうございました。地域包括支援センターの担当者様、家庭訪問にあたって理解が深まるよう、住民の方とのコミュニケーションの合間に隠岐の慣習など解説を入れてくださってありがとうございました。ともいきの郷の皆様、利用者さんとスムーズにコミュニケーションが取れるようサポートしてくださってありがとうございました。流しそうめんは今年の夏の思い出になりました。五箇診療所の皆様、ご多忙の中、貴重な診療の場を見せてくださってありがとうございました。医師が1人だけで診療所を回すこと、そして看護師さんのオールマイティな業務に驚きの連続でした。ホテルここの皆様、美味しい地元の飲食店をたくさん教えてくださってありがとうございました。そして、今回の実習で関わってくださった島民の皆様、貴重なお話をたくさん聞かせてくださってありがとうございました。病院実習が始まっていない3年生という時期にこの実習に参加することができて、本当に良かったです。今回学んだことを決して忘れず、人としても成長した立派な医師となって皆様にまたお会いできるよう、これからも精進してまいります。隠岐の島町の皆様、本当にありがとうございました！！

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

地域医療実習自体が初めてだったので座学で学んでいたことを身をもって体感することで地域医療の問題を考えることができた。例えば高齢者の方の暮らしにくさを実際に家庭訪問をして体感し地域包括ケアで高齢者の生活を支えることの大切さがわかった。

また、元々興味があった隠岐の院内助産を見学させていただき、隠岐でのお産を維持することの難しさと維持するための取り組みを学ぶことができた。

## ●今回の実習で得たことを今後どのように活かすか

将来、隠岐のような僻地で働く可能性が高いので隠岐で感じた地域医療の良いところ(介護、保健、医療の協力がしっかりしているところ、患者さんとの距離が近いところ、予防医療に力を入れていること)は他の地域でもできるようにしつつ、赤字や設備不足、ICの問題などは解決できるように取り組みたい。またいろんな医師の方のキャリアプランを見ることができたので自分のキャリアプランに活かしていきたい。

## ●今回の実習を通して、自分が成長したと思う点

- 初めて手術を見た。
- 高齢者の方との関わり方を学ぶことができた。(世間話など)
- 総合診療医の大切さがよりわかった。

## ●お世話になった方へのメッセージ

院長先生、K師長、保健所の方々はじめ、様々な方が自分の興味があると言っていた産婦人科や院内助産見学が診れるような実習にできるよう協力していただき感謝でいっぱいです。隠岐で学んだことを活かして大学で勉学に励み恩返しできるように頑張ります。

## 令和7年度夏季地域医療実習 (地域医療体験実習 I)意見交換会

実習後に、参加学生、本学教員、島根県及び実習機関関係者が参加する意見交換会をオンラインで行った。当日は異なる圏域に実習に行った学生4～5名と、島根県及び実習機関関係者2～3名で1グループになり、「実習で一番印象に残った体験」、「島根の地域医療の良いところ・課題」、「島根の地域医療の改善策」の3つのテーマに沿って話し合った。最後に全5グループそれぞれの代表が自身のグループで話し合った内容を発表した。

**日 時** 令和7年8月22日(金)14:00～16:00(Web開催)

**参加者** 合計34名  
・島根県及び実習機関関係者：8名  
・大学関係者：4名  
・実習参加学生：22名

# フレキシブル実習(地域医療体験実習Ⅱ) 概要

地域医療支援学講座では、島根の地域医療に対する理解を深めてもらう為に、夏季・春季地域医療実習だけでなく、学生が自ら企画立案を行い、考える学修「フレキシブル実習(自主企画型地域医療実習)」の支援をしています。

## 実習目標

学生自らが企画立案し、島根県内外の地域医療拠点病院・へき地診療所等の活動や地域との連携を実地で体験・学習することにより、島根の地域医療や公衆衛生業務に対する理解を深める。

## 実施時期

通年(原則として夏休み、冬休み、春休み中)に学生が希望する期間。平日3日間程度。

## 対象

島根大学医学科生

## 実習医療機関

島根県内(出雲・松江圏域臨床研修病院は除く)および県外の地域医療に関連する医療実習機関

## 参加者

延べ34名(令和7年1月～令和7年12月)

実習協力機関：鳥取県中部医師会立 三朝記念病院、社会医療法人哲西会 哲西町診療所、浜田市国民健康保険 波佐診療所、国立病院機構 浜田医療センター、大田市立病院、済生会江津総合病院、社会福祉法人島根整肢学園 西部島根医療福祉センター、隠岐広域連合立 隠岐病院、浜田市国民健康保険 弥栄診療所、松江刑務所

## 実習中の課題

- ・地域医療支援学講座の教員と面談の上、学生自らが実習内容・医療機関を決定。
- ・実習前に計画書を作成し、各々の目標を決め、事前学習を行う。
- ・実習中は毎日Day Sheetを記入し、実習で学んだことを書き留める。
- ・実習後に各々が報告書を作成し、意見交換会に参加し、共有する。

## 旅費

島根大学医学部を起点とした実習病院までの交通費、宿泊費、日当(規定額)を支給。  
※出雲市内の医療機関は旅費支給対象外とする。

## 宿泊場所

病院宿舎、ホテル、当直体験など

**●今回の実習で得たこと、学んだこと**

今回の実習では、救急医療の現場を見学する機会を得ました。その中で、以前の講義で伺った「総合診療医は地域のニーズに応じて求められる役割を果たしていく」という考え方が、実際の現場を通して自分の中で具体的に理解できたと感じました。総合診療医の役割の奥深さや守備範囲の広さ、またその難しさを実感するとともに、これまで救急医を志してきた自分にとって、総合診療という働き方も自分に適しているのではないかと考えるようになったことは、大きな学びでした。

**●今回の実習で得たこと、あるいは課題を今後どのように活かすか**

実習計画書では、「地域医療の現場が抱える課題について理解を深め、将来的にその解決に貢献できるようになること」を目的としていましたが、実際に実習を通して、自分自身が現時点ではほとんど何もできないという現実を強く実感しました。地域医療の現場で総合診療医として働くことの魅力や可能性を、自分事として理解できた点は大きな収穫でしたが、その一方で、知識や経験の不足に対するもどかしさも感じました。

今後は、まず基礎的な医学知識や臨床推論力の習得に一層努めるとともに、今回のような実習の機会には可能な限り積極的に参加し、学びを積み重ねていきたいと考えています。そして将来、研修医となった際には、少しでも早く現場に貢献できる医師になることを目標にしていきたいです。

**●お世話になった方へのメッセージ**

このたびは、充実した実習の機会をいただき、本当にありがとうございました。自分自身の未熟さや知識・経験の不足を痛感する場面も多々ありましたが、それと同時に、将来どのような医師になりたいのかを考える貴重な機会となりました。今回学ばせていただいたことを今後の学習や研修に活かし、将来は臨床現場に還元できる医師になれるよう努めてまいります。

## ●今回の実習で得たこと、学んだこと

今回の実習を通して、物事に早めに取り組むことの重要性や、可能な限り対面で集まり、協力しながら準備や話し合いを行うことの大切さを学びました。オンラインでの打ち合わせでは、役割分担が進みにくかったり、各自の作業状況が把握しづらかったりする場面があると感じました。これまで当日のみ関わってきた活動に対し、今回は準備段階から運営に携わらせていただいたことで、これまで運営を担ってこられた方々のご苦勞を実感しました。

準備は決して容易ではありませんでしたが、多くの方々に支えられながら活動が成り立っていることを改めて実感し、感謝の気持ちを強く持ちました。

また、今回の実習では、参加者の年齢層を意識した企画を取り入れました。これまであまり注目していなかった層について考えることで、新たなニーズに気づくことができ、多くの方に利用していただくことができました。企画を工夫することで、他の取り組みとの相乗効果も生まれ、より多くの方に楽しんでいただけたと感じています。

## ●今回の実習で得たこと、あるいは課題を今後どのように活かすか

前述の通り、実際に集まって話し合うこととオンラインでの打ち合わせとでは、準備の進み方に違いがあると感じました。参加者全員が当事者意識を持って役割を理解している場合にはオンラインでも円滑に進む可能性があります。準備の初期段階では対面での話し合いが有効であると学びました。準備の後半では、集まれるメンバーで役割分担を明確にし、効率よく準備を進めることができました。今回の準備過程や工夫した点については、今後同様の活動に取り組む後輩たちが参考にできるよう、整理して共有したいと考えています。

また、実習期間中に多くの方からアンケートへのご協力をいただきました。今後はその回答を集計・分析し、結果について考察を行いたいと考えています。機会があれば、得られた知見を関係者や地域の方々に向けて発信していきたいです。

## ●お世話になった方へのメッセージ

今回の実習に関わってくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。準備が十分でない中、多くの場面で支えていただき、大変貴重な学びの機会となりました。今回の経験を今後の学修や活動に活かし、少しずつ成長していけるよう努めてまいります。

## フレキシブル実習(地域医療体験実習Ⅱ) 意見交換会

実習目標に照らし、学び・今後の課題をまとめプレゼンテーションを行った。発表毎に質問や意見交換を行い、教授から一人ひとりにフィードバックが行われた。

日

時

令和7年5月27日(火)18:00~19:30

令和7年11月26日(水)17:30~19:00



意見交換会の様子

※ホームページ掲載にあたり、写真削除

## おわりに

本報告書の取りまとめにあたり、完成までに時間を要しましたが、関係各位のご理解とご協力のもと、ここに報告書を刊行することができました。

当講座の教職員が実習先を巡回する中で、学生たちが地域医療の現場における課題や、限られた医療資源の中で工夫を凝らしながら診療や保健活動に取り組む姿勢を、真摯に学ぼうとする様子を随所で見ることができました。また、Web形式で実施した報告会では、総合的な診断力の重要性や多職種連携の必要性、医療機関と自治体、地域住民との協働の意義について実感したという学生の声が多く聞かれました。これらの発言からは、実習を通して学生一人ひとりの視野が広がり、地域医療を自分事として捉え始めていることがうかがえ、心強く感じています。

現在、地域医療を取り巻く環境は、人口減少と急速な高齢化、医師の地域偏在、医療・介護需要の増大と多様化など、複合的かつ構造的な課題に直面しています。とりわけ、超高齢先進県である島根県においては、将来を見据えた医師確保と人材育成が喫緊の課題となっており、島根大学医学部は、地域医療への理解と使命感を備え、将来地域で活躍できる医師を育成する役割が一層求められています。

地域医療教育は、教員による指導のみで完結するものではありません。日々の診療や保健活動に携わる医療従事者の皆様、地域医療を支える自治体職員の皆様、そして地域で生活を営む住民の皆様から学ぶことが、学生にとって極めて実践的で価値のある教育となります。今回の実習において、学生たちが地域医療の現場から多くを学び、深い気づきを得ることができたのは、ひとえに実習にご協力いただいた皆様の温かいご支援とご指導のおかげであり、改めて深く感謝申し上げます。

本実習を通して地域に魅力を感じた学生たちが、将来のキャリア形成において「地域で働く」という選択肢を現実的なものとして捉え、地域医療を担う人材として成長してくれることを心より期待しています。当講座としても、大学と地域が共に学び合う関係を大切にしながら、地域医療を担う人材の育成に継続して取り組んでまいりたいと考えております。

島根大学医学部  
地域医療支援学講座

## 地域医療実習報告書

---

発行日 ■ 令和8年3月

発行者 ■ 島根大学医学部

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

電話(ダイヤルイン)：0853-20-2085

FAX：0853-20-2078

E-mail：[kyomu1@med.shimane-u.ac.jp](mailto:kyomu1@med.shimane-u.ac.jp)

URL：<http://www.med.shimane-u.ac.jp>

---

印刷・製本 ■ 有限会社ナガサコ印刷

〒693-0046 島根県出雲市下横町350

---